

TOSHIBA

取扱説明書

REGZA

液晶テレビ

形名 24V34/32V34/40V34

機能操作編



「付属品を確認する」、
「テレビを設置する」、
などの準備は製品に
同梱の取扱説明書を
ご覧ください。

必ず本製品をご利用いただく前に製品同梱の取扱説明書の「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」をご覧ください。
必ず最初に製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。

映像や音声がなくなった、操作ができなくなったなどの場合は、[「症状に合わせて解決法を調べる」](#)をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

》リモコンのボタンと主な機能	11
----------------	----

テレビを見る

》テレビ番組を操作する	14
》リモコンで番組を選ぶ	14
》音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる	17
》本体ボタンによる「機能切替」について	18
》操作ガイドについて	19
》サブメニューについて	20
》番組情報や番組説明を見る	22
》番組情報を見る	22
》番組説明を見る	23
》番組表で番組を探す	24
》番組表を使う	24
》番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)	27
》番組表を便利に使う	27
》条件を絞りこんで番組を探す	35
》データ放送やラジオ放送を楽しむ	41
》連動データ放送を楽しむ	42
》独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	42
》便利な機能を使う	44
》画面サイズを切り換える	44
》降雨対応放送について	45
》他の映像・音声を切り換える	45
》映像を静止させる	47
》映像の詳細情報を表示させる	48
》省エネ設定をする	49
》声を聴き取りやすくする	51
》ヘッドホンで聴く	52

》外部スピーカーで聴く	53
》時計を表示する	53
》自動で電源が入るようにする	54
》自動で電源が切れるようにする	57

録画機器を使う

録画機器の接続をする

》録画・予約機能について	58
》録画できる機器と番組	58
》接続・設定と録画前の準備	59
》USBハードディスクの設定をする	61
》USBハードディスクの設定をする	61
》録画の基本的な設定をする	66
》録画に使用する機器を設定する	66
》チャプター分割のしかたを設定する	67
》レグザリンクダビングの 接続・設定をする	68
》東芝レコーダーと本機を接続する	68
》東芝レコーダーと本機を設定する	70

録画・予約をする

》見ている番組を録画する	74
》番組表で予約をする	76
》メッセージが表示された場合	78
》マルチ表示の番組表で予約するとき	79
》連続ドラマを予約する	80
》日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする	82
》日時を指定して予約をする	82
》番組を検索して録画・予約をする	84

》録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	85
》予約の確認・変更・取り消しをする	88
》おまかせ録画	91
》おまかせ録画に必要な準備	91
》おまかせ録画について	92
》予約・録画の優先順位と予約の動作について	94
》予約・録画の優先順位について	94
》予約の動作について	97

再生する

》録画した番組を再生する	98
》再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	98
》録画番組の再生中にできるリモコン操作	101
》録画番組の情報や番組説明を見る	103
》録画番組を修復する	104
》シーン検索について	105
》見たい録画番組を探して再生する	106
》録画リストのさまざまな機能を使う	109
》繰り返し再生の設定を変える	109
》番組を並べ替える	110
》ほかの機器を選択する	110
》連ドラ予約をする	111
》機器の情報を確認する	112
》次みるナビで楽しむ	113
》録画した番組を見る	113
》もっと便利に、お好みの番組を選ぶ	114

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

》不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する	115
》一つの録画番組を消す	115

》複数の録画番組を消す	116
》グループ内の録画番組をすべて消す	117
》自動的に消す(自動削除設定)	117
》誤って消さないように保護する	118

編集・ダビングする

》チャプター編集をする	119
》録画済番組の再生中に編集する	119
》グループ名を変更する	121
》他のグループに移動する	123
》録画番組をダビング(ムーブ)する	125
》USBハードディスク間でムーブする	126
》東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する	128
》ネットワーク接続でダビングする	128
》ブルーレイディスクに手間なくダビングする	130

接続機器を使う

》外部入力の画面に切り換える	133
》外部入力の機能を設定する	136
》入力切替時に画面に表示される機器名を設定する	137
》使用しない外部入力をスキップする	137
》Dolby Digital Plusの入力を設定する	138
》HDMI入力の画質が自動設定されるようにする	138
》HDMI入力のRGBレンジを設定する	139
》ビデオ入力の音声入力を設定する	139
》本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする	140
》本機のリモコンで対応機器を操作する	144
》機器を操作する	144
》本機のリモコンでできるおもな操作	149

》レグザサウンドシステムで聴く	151
》レグザサウンドシステムの音声を設定する	152
》オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く	153
》オーディオ機器のスピーカーで聴く	153
》ヤマハオーディオ機器の音声を調整する	155
》タイムシフトリンク機能を使う	156
》タイムシフトリンクメニューを表示する(基本操作)	156
》タイムシフトマシン録画番組を見る	157
》番組情報やタイムバーを表示させる	163
》タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作	164
》タイムシフトマシン録画番組をざんまいスマートアクセスで楽しむ	166
》始めにジャンプを使う	178
》機器操作を使う	178
》おまかせ録画番組表を使う	178
》システムをメンテナンスする	179
》タイムシフトリンク省エネ設定をする	180
》おすすめ履歴を初期化する	181
》動画を再生する	182
》動画再生の操作	183
》動画再生時にできるリモコン操作	185
》動画の再生方法を設定する	186
》時間を指定して再生する(タイムサーチ)	186
》動画を並べ替える	187
》機器を選び直す	187
》動画再生リストの操作ガイドについて	187
》写真を再生する	188
》写真再生の操作	189
》マルチ表示画面の表示モードを切り換える	192
》再生を繰り返す	193
》スライドショーの表示間隔の設定をする	194

》マルチ表示画面の写真の並び順を変える	194
》機器を選び直す	194
》スカパー！プレミアムサービスLink (録画)の番組を再生する	195
》基本操作	195
》視聴制限について	196

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する

》インターネットに接続するための設定をする	198
》かんたんネットワーク設定	199
》接続方法	206
》無線LAN設定	206
》アドレス設定(IPv4)	210
》IPv6接続	212
》アドレス設定(IPv6)	213
》ネットワーク情報	215
》接続テスト	215
》ネットワーク設定の接続テスト結果について	216
》ネットワークサービスを利用するための設定をする	217
》ネットワークサービスの情報を初期化する	218

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

》クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ	224
》クラウドサービスとネットワークサービスについて	224
》クラウドサービスの基本操作	225
》クラウドサービスの設定をする	226
》「Netflix」について	228
》動画配信サービスを楽しむ	231
》スマートスピーカーで本機を操作する	233
》スマートスピーカーと連携する	233
》スマートスピーカーで操作する	235

調整・設定をする

映像を調整する

》 お好みの映像メニューを選ぶ	236
》 お好みの映像に調整する	238
》 黒レベル	239
》 色の濃さ	239
》 色あい	239
》 精細感・ノイズ調整	240
》 コントラスト感調整	244
》 色詳細調整	247
》 その他の映像設定	249
》 お好み調整を初期値に戻す / 映像調整を初期値に戻す	255
》 テレビの電源ランプを消灯する	255

音声を調整する

》 お好みの音声メニューを選ぶ	256
》 お好みの音声に調整する	258
》 サウンドリマスター	258
》 低音強調	259
》 イコライザー	259
》 サラウンド	260
》 オートボリューム	261
》 左右バランス	261
》 ドルビー DRC	261
》 音声出力詳細設定	262

その他の設定をする

》 アンテナを調整する	267
》 電波の強さ(信号強度)を確認する	267
》 アンテナを調整する	269
》 BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	270

》アンテナ線がショートしたとき	271
》チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	272
》地上デジタルチャンネルを自動で設定する	272
》チャンネルをお好みに手動で設定する	274
》視聴しないチャンネルをスキップする	276
》データ放送の設定をする	278
》地域と郵便番号を設定する	278
》災害発生時に文字情報を表示させる	280
》ルート証明書の番号を確認する	281
》視聴できる番組を制限する	282
》制限するために暗証番号を設定する	282
》番組の視聴を制限する	284
》インターネットの利用を制限する	285
》リモコンの設定を変更する	286
》2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する	286
》使わない放送切換ボタンの操作を無効にする	288
》お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）	289

設定メニュー一覧


》設定メニュー 一覧	291
----------------------	-----

さまざまな情報

》ソフトウェアを更新する	297
》ソフトウェアの更新機能について	297
》ソフトウェアの自動ダウンロードについて	298
》東芝サーバーから手動でダウンロードする	301
》ソフトウェアのバージョンを確認するには	302
》文字を入力する	303
》アイコン一覧	307
》番組についてのアイコン	307

》お知らせ、予約、その他についてのアイコン	308
》画面サイズについて	309
》対応フォーマット	313
》本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット . . .	313
》本機で再生できる動画のフォーマット	315
》本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット . .	315

困ったときには

》症状に合わせて解決法を調べる	316
》操作	316
》映像	318
》音声	321
》地上デジタル放送	322
》BS・110度CSデジタル放送	323
》番組表	325
》お知らせアイコン  が何度も表示される	326
》録画・再生	326
》HDMI連動機能	331
》クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない .	333
》エラーメッセージが表示されたとき	339
》全般	339
》USBハードディスクに関するエラー表示	342
》東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示 .	343
》LAN端子を使った通信に関するエラー表示	345
》ホームネットワークに関するエラー表示	347

リモコンのボタンと主な機能

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。



電源

電源を入れる/待機にする

入力切替

外部入力機器の画面に切り換える

画面表示

番組名や放送局名、放送時間などを見る

時計

時計を表示する

字幕

字幕の表示/非表示を切り換える

番組説明

番組説明を表示する

地デジ / BS / CS

放送の種類を切り換える

1 ~ 12 (数字ボタン)

チャンネルを選ぶ

チャンネル

チャンネルを順番に選ぶ

消音

音を消す

みるコレ

みるコレ画面を表示する



サブメニュー

サブメニューを表示する

音量 + / -

音量を調節する

おまかせ録画

おまかせ録画画面を表示する

次みるナビ

次みるナビ画面を表示する

シーン検索

シーン検索画面を表示する

録画リスト

録画リストを表示させる

番組表

番組表で番組を選ぶ

▲・▼・◀・▶ (矢印ボタン)、⤴・⤵・⤶・⤷

番組表などでページを切り換える

メニューから選ぶ、決定する

ワンタッチリプレイ(10秒戻す)

ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)

決定

メニューから選ぶ、決定する

戻る

メニュー操作で一つ前の画面に戻る

終了

操作を終了する

青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーボタン)

多様な用途があります



d データ

データ放送を見る

クリア音声

音声を聞き取りやすくする

タイムシフトリンク

タイムシフトリンク機能の画面を表示する

設定

設定メニューを表示する

予約リスト

予約リスト画面を表示する

音声切換

音声を切り換える



再生、早見早聞再生をする

早送り、早戻しをする

チャプタースキップをする

録画や再生を停止させる

再生を一時停止させる

映像を静止させる

ABEMA、NETFLIX、hulu、
U-NEXT、YouTube™、prime video
動画配信サービスに切り換える

テレビ番組を操作する

- 本体の操作ボタンについては、[「本体ボタンによる「機能切換」について」](#)をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン 1 ~ 12 で選局します(次ページの「お知らせ」をご覧ください)。
- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

■ グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。

例：BSデジタル放送を見ているときに BS を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。
- 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
 - ・ BSデジタル放送は、グループAとグループBがあります。
 - ・ 110度CSデジタル放送は、グループA～グループFがあります。
- 1 ~ 12 ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル ▲・▼ ボタンで選局する(順次選局)

-  でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)





- チャンネル番号は番組表で確認できます。


- 1  を押し、▲・▼と  で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」の順に進む

- 画面の右上に 地デジ---、BS---、CS--- のどれかが表示されます。

◀▶で放送を切り換えられます。

- 2  ~  でチャンネル番号を入力する




例 103チャンネルを選ぶ場合⇒ 、 (0)、 の順に押します(「0」は  で入力)。

- 入力した番号を消すには、◀を押します。
-  (※)を使った入力ができます。

例   →300番以降の最小チャンネル

枝番のついた放送一覧が表示されたとき



- ▲・▼で選んで  を押すか、 (0) ~  で枝番を指定して選びます。

お知らせ




- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、[番組表](#)で確認することができます。
- 数字ボタンでワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです([「チャンネルをお好みに手動で設定する」](#)▶で変更できます)。
 - を押したとき→「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(と^{ABC}だけ)。
- ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)▶をご覧ください。

音量を調節する / 音を一時的に消す / 字幕を表示させる

音量を調節する

- ① リモコンの  を押す




音を一時的に消す

- ① リモコンの  を押す
- ② 画面右下に  が表示されます。もう一度  を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ① リモコンの  を押す

サブメニューから切り換えるには

- ①  を押し、▲・▼と  で「字幕」を選ぶ
- ② ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、 を押す

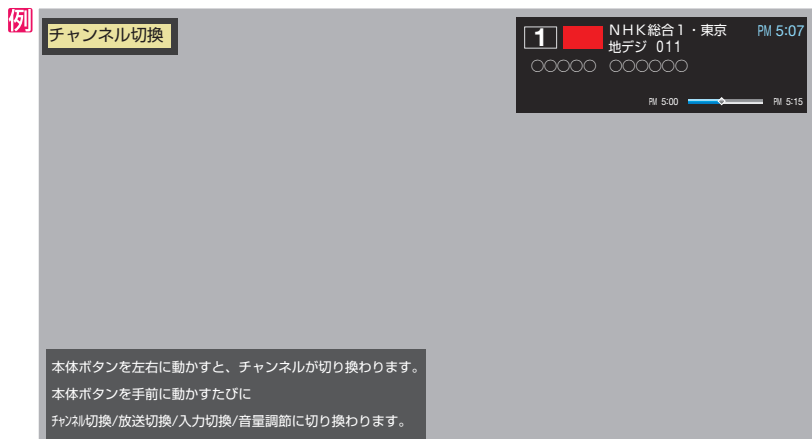
※ 放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

本体ボタンによる「機能切換」について

- 本体底面にある本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」を行います。手前に動かすたびに機能が切り換わります。

1 本体ボタンを手前に動かす

- 本体ボタンを手前に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。



- 本体ボタンを手前に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し手前に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

- 本体ボタンを手前に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→チャンネル切換→放送切換→入力切換→表示なし(音量調節)

- チャンネル切換..... チャンネルが順次に切り換わります。
- 放送切換..... 「地デジ」、「BS」、「CS」が順次に切り換わります。
- 入力切換..... 入力が順次に切り換わります。 [▶「外部入力の画面に切り換える」](#)

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やサブメニューに割り当てられています。

録画リスト



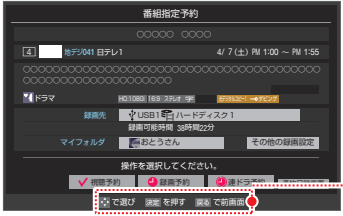
サブメニューの表示
サブメニューがあることを示します。

番組表

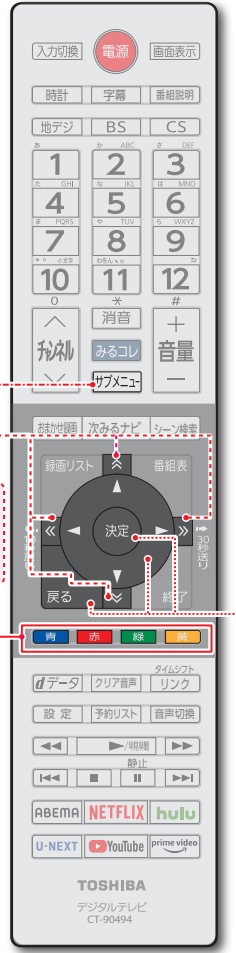


左右上下の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

操作画面



決定 戻るの表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。



サブメニューについて

- **サブメニュー**を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、**サブメニュー**を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

サブメニュー
タイムシフトマシン機器
番組説明
録画
連ドラ予約
予約リスト
メディアプレーヤー
時計
字幕
画面サイズ切換
スピーカー切換
サウンドシステム設定
チャンネル番号入力
その他の操作

タイムシフトマシン機器
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーの過去番組表を表示します。 ^{※1}
番組説明
視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。
録画
録画ができます。
連ドラ予約
視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。
予約リスト
予約リストを表示します。
メディアプレーヤー
動画、写真を再生するメディアプレーヤーを起動します。
時計
時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。
字幕
字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
画面サイズ切換
見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
スピーカー切換
本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。
サウンドシステム設定
音声連携対応のオーディオ機器の音声メニューを設定します。 ^{※2}
チャンネル番号入力
チャンネル番号を入力して選局します。
その他の操作
「その他の操作」サブメニューを表示します。

サブメニューで「その他の操作」を選択

その他の操作
信号切換
アンテナレベル表示
データ放送終了
テレビ/ラジオ/データ切換
親切ヘッドホン音量
お知らせ
本機の情報

信号切換 「信号切換」サブメニューを表示します。
アンテナレベル表示 映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。
データ放送終了 データ放送の視聴を終了します。
テレビ/ラジオ/データ切換 視聴する放送メディアを切り換えます。
親切ヘッドホン音量 親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。
お知らせ 本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。
本機の情報 本機のソフトウェアバージョンを確認します。

サブメニューで「その他の操作」⇨「信号切換」を選択

信号切換
映像信号切換
音声信号切換
音多切換
降雨対応放送切換

映像信号切換 一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。
音声信号切換 一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。
音多切換 二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。
降雨対応放送切換 豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。

※1 サブメニューの「タイムシフトマシン機器」は、本機とタイムシフトマシン対応東芝レコーダーをHDMIケーブルで接続しているときにだけ、表示されます。

タイムシフトマシン対応東芝レコーダーについては、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

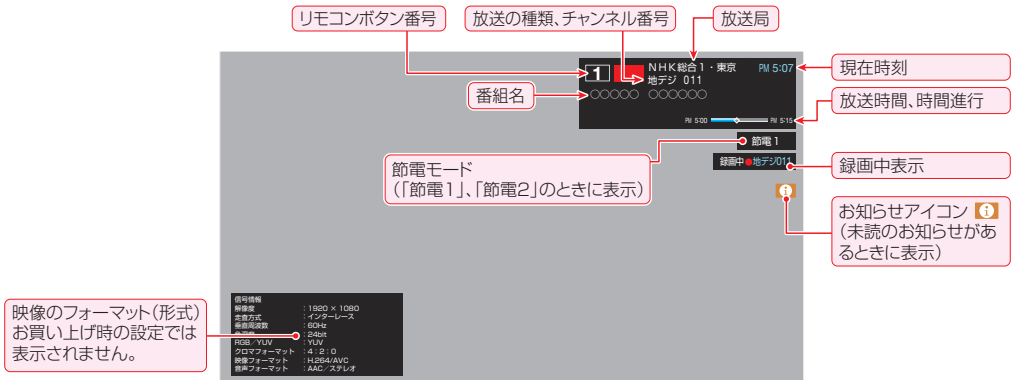
※2 サブメニューの「サウンドシステム設定」は音声連携対応のオーディオ機器を接続している場合だけ、表示されます。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

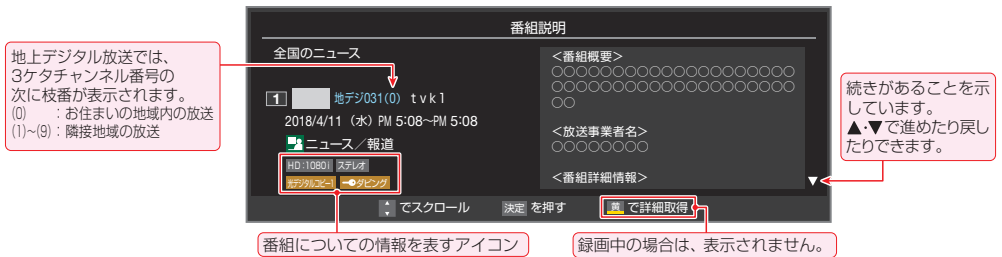
1 番組説明 を押す

- サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「番組説明」選んでも同様の操作ができます。

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
 - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
 - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、[「アイコン一覧」](#) をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」をご覧ください)。

【通常番組表画面：7チャンネル表示の例】

- 放送の種類を変えるときは、「地デジ」、「BS」、「CS」を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「[テレビ/ラジオ/データ切換](#)」で選びます。
- 番組表を消すときは、「終了」を押します。

2 ▲・▼・◀・▶で番組を選ぶ

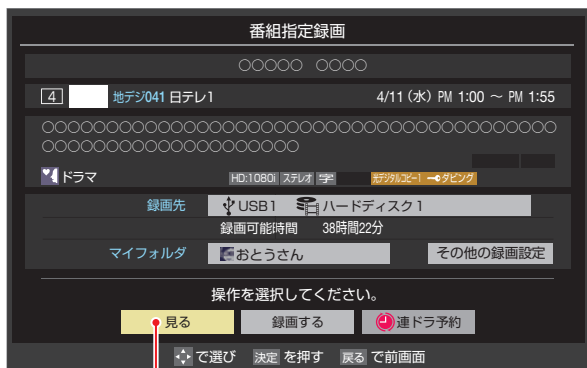
- 選んだ番組の番組説明を見るには、**番組説明**を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀▶または◀・▶を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。「[番組表で予約をする](#)」の**手順3**をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、**決定**を押し、**1**～**10**で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



「見る」を選びます。

- 番組指定録画面からは、[録画](#)、[連ドラ予約](#)の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、[視聴予約](#)、[録画予約](#)、[連ドラ予約](#)の設定ができます。

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「[番組表を更新する](#)」の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「[チャンネルスキップ設定](#)」で、スキップ「する」に設定に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「[テレビ/ラジオ/データ切換](#)」で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「[番組の視聴を制限する](#)」をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「[番組表で視聴制限を一時解除する](#)」をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

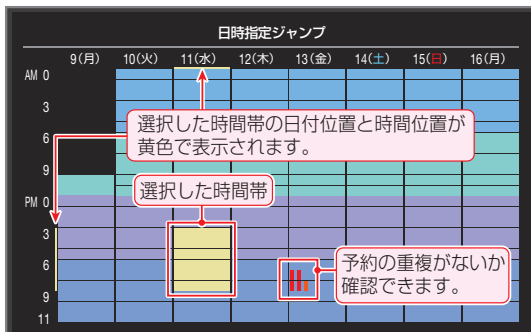
- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします(ミニ番組表では一部の機能を使用できません)

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 (日時切換) を押す

2 で日時を選び、 を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

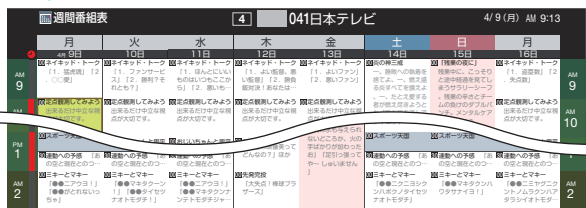
- 1 ◀▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、
黄 (週間番組表)を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



【通常番組表】

黄 を押すたびに切り換わります



【週間番組表】

- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、マルチ表示》に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

- 1 番組説明 を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押す

番組情報の取得中に表示されます。



※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。

- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります)。
 - BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
 - 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
 - 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、**決定**を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、
灰色の二重縦線を表示

4/9 (月) 18:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00

1	011	021	041	061	081	051	071
BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース

放送事業者ごとの
1チャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

4/9 (月) 18:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00

1	011	012	041	043	081	051
BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース	BS日経ニュース

[マルチ表示]

- 「マルチ表示」での番組予約については、[「マルチ表示の番組表で予約するとき」](#)をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 **赤** を押して文字の大きさを切り換える

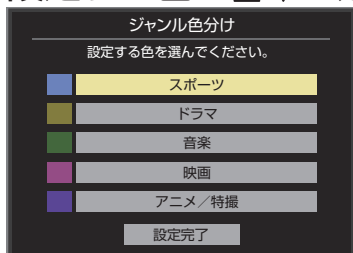
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

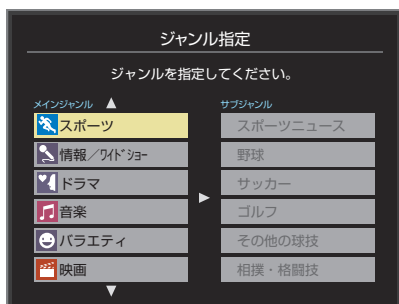
1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで **決定** を押す

2 設定する色を▲・▼で選び、 **決定** を押す



3 ▲・▼・◀・▶でジャンルを選び、 **決定** を押す

- **決定** を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。




4 ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 を押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んで を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、 を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 を押し、▲・▼と で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む



2 ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、 を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 を押し、▲・▼と で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、 を押す

- 通常
放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先
ワンタッチ選局ボタン  ~  の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定** を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定** を押す

- 視聴チャンネル中央表示 視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示 お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで **決定** を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 あ 1 ~ ＊ 〇 小文字 10 (0) で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

条件を絞りこんで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- [「チャンネルスキップ設定」](#)で、チェックをはずしたチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

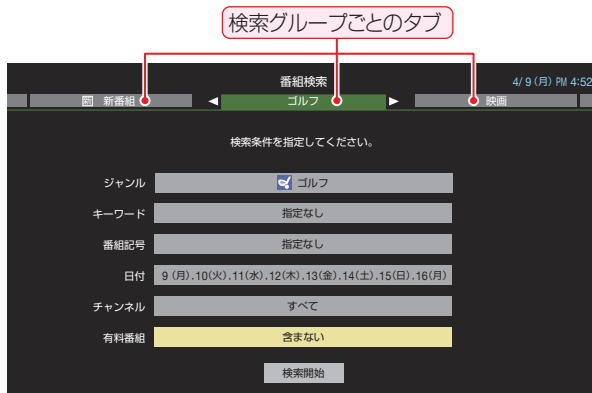
1 を押して、番組表を表示させる

2 (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。

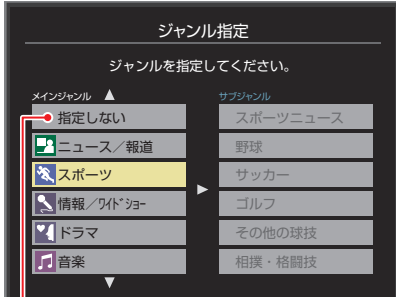


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

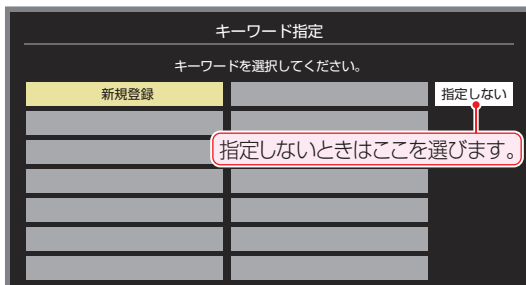
- ① ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- ② 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す



指定しないときはここを選びます。

「キーワード」を指定するとき

- ① ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



指定しないときはここを選びます。

■ 新しいキーワードを登録する場合

① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、**決定**を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して確定ボタンを選び、**決定**を押す

● 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**青**を押す

② キーワードを編集して確定ボタンを選び、**決定**を押す

■ キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**赤**を押す

② ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

「番組記号」を指定するとき

① ▲・▼で「番組記号」を選び、**決定**を押す

② 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

番組記号指定

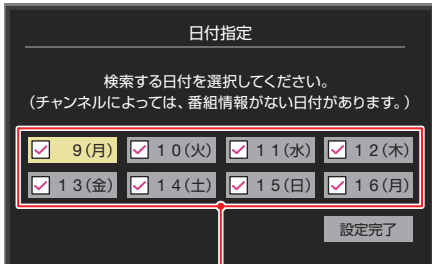
番組記号を選択してください。

<input type="checkbox"/> 新番組	<input type="checkbox"/> 最終回
<input type="checkbox"/> 無料放送	<input type="checkbox"/> 再放送
<input type="checkbox"/> 生放送	<input type="checkbox"/> 番組連動データ放送
<input type="checkbox"/> 双方向サービス	<input type="checkbox"/> 字幕放送
<input type="checkbox"/> 手話通訳放送	<input type="checkbox"/> 吹き替え
<input type="checkbox"/> サラウンドステレオ	<input type="checkbox"/> 二カ国語放送
<input type="checkbox"/> 音声多重放送	<input type="checkbox"/> 音声解説
<input type="checkbox"/> 指定しない	

指定しないときはここを選びます。

「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
- **決定**を押すたびに、 (指定する)と (指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

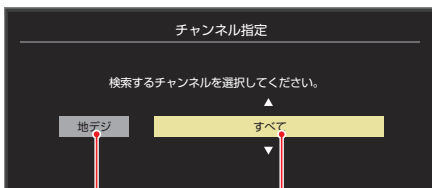


指定する日に「」がつくようにします。

- 3 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

チャンネル

- **放送の種類** すべて / BS / CS / 地デジ
 - **チャンネル** 指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて
- 3 指定が終わったら、**決定**を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。
 - ① ▲・▼で「有料番組」を選び、**決定**を押す
 - ② ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、**決定**を押す

5 ▲・▼で「検索開始」を選び、**決定**を押す

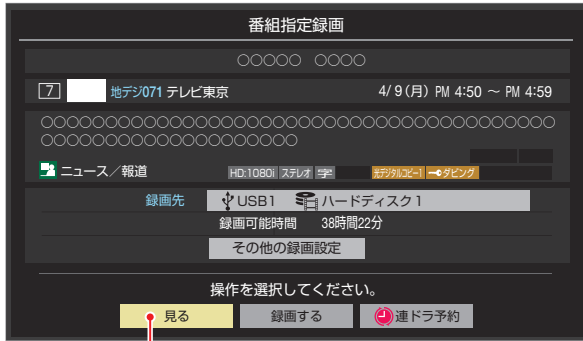
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで**決定**を押す

番組検索結果		4/9(月) PM 4:56	
検索条件：ニュース／報道			
団NEWS	放送中	7	地デジ071 4/9(月) PM 4:50
首都圏のニュース団	放送中	4	地デジ041 4/9(月) PM 4:50
Newsチャンネル	放送中	5	地デジ051 4/9(月) PM 4:50
今日のニュース団	放送中	8	地デジ081 4/9(月) PM 4:50
夕方のニュース		3	地デジ031 4/9(月) PM 5:00
ニュース各地から		1	地デジ011 4/9(月) PM 5:05
報道1回		6	地デジ061 4/9(月) PM 5:50
ニュース(鷹の祭典)		1	地デジ011 4/9(月) PM 6:00
ニュース		4	地デジ041 4/9(月) PM 6:45

- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。[「番組表で予約をする」](#)の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけの検索結果になります。

7 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す



「見る」を選びます。

- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

運動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、 を押し、▲・▼と で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ


- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ


- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、 を押します。

2 を押し、▲・▼と で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む


3 ▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、 を押す

-  で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 )と [インターネットを利用するための設定](#) をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報を入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、利用できません。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「画面サイズ切換」の順に進む

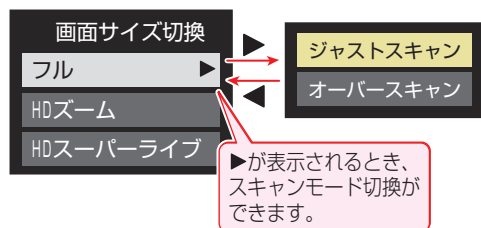
2 お好みの画面サイズを▲・▼で選び、**決定** を押す

- 画面の見えかたについては、[「画面サイズについて」](#) をご覧ください。

▶が表示されるとき

- **決定** を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

1 ▶を押し、お好みのモードを▲・▼で選ぶ



- **ジャストスキャン**……… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン**……… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
- ※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。
- ※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に **二重音声** のアイコンが表示されます。

1 **音声切換** を押す

- **音声切換** を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「音声切換」を押す

- 「音声切換」を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があり、お好みで選択することができます。
- 番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。


1 「サブメニュー」を押し、▲・▼と「決定」で「その他の操作」⇒「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲・▼で選び、「決定」を押す

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。



3 視聴したい映像、音声を▲・▼で選び、を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、で選択する機能と同じです。

お知らせ


■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。
ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 を押す

- 解除するときは、もう一度 を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

映像の詳細情報を表示させる

- **画面表示** を押したときに、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例

信号情報

解像度	: 1920 × 1080
走査方式	: インターレース
垂直周波数	: 60Hz
色深度	: 24bit
RGB/YUV	: YUV
クロマフォーマット	: 4 : 2 : 0
映像フォーマット	: H.264/AVC
音声フォーマット	: AAC/ステレオ

- お買い上げ時は表示されないように設定されています。表示させたい場合は、「オン」に設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「信号フォーマット詳細表示設定」の順に進む

2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- オン… **画面表示** を押したときに信号フォーマットの詳細な情報が表示されます。
- オフ… 信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

節電モード	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエア無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

3 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定** を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。
 - **標準**… 標準の明るさです。
 - **節電1**・画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
 - **節電2**・画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。
- **取得する**
電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- **取得しない**
番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- **待機にする**
本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエア無信号オフ

- **待機にする**
放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- **待機にする**
外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

声を聴き取りやすくする

- 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

1 クリア音声を押す

- 押すたびに「オン」と「オフ」が切り換わります。
「オン」にすると、人の声が強調されます。

お知らせ

- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。
- ※ ヘッドホン出力設定の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」をご覧ください。


1 を押し、▲・▼と で「音声設定」⇨「音声出力詳細設定」⇨「ヘッドホン／音声出力設定」⇨「ヘッドホン出力設定」の順に進む

● 通常モード




ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声がなくなります。

● 親切モード

ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。


- 親切モードのとき、スピーカーの音量は  で調節します。

ヘッドホンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、 で調節します。
 - 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。
- 1  を押し、▲・▼と  で「その他の操作」⇨「親切ヘッドホン音量」の順に進む

- ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。

2 ◀▶で音量を調節する

-  でも調節できます。

ご注意

- ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」にしてください。

外部スピーカーで聴く

- ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選び、**決定** を押す

2 ▲・▼で「音声出力」を選び、**決定** を押す

- 本機のスピーカーからは音は出ません。
 - 「音声出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。
「可変」の場合は、本機のリモコンで音量を調節できます。
- ※ 「音声出力設定」の設定のしかたについては、[ヘッドホン／音声出力設定](#) をご覧ください。

時計を表示する

- 画面に時計を表示させます。

1 **時計** を押す

- **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇄「時計表示」を選んでも同様の操作ができます。

2 ▲・▼を押して、「大きいサイズ」、「小さいサイズ」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- 「オフ」を選ぶと時計表示を消します。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する

オンタイマー	オフ
日時	月～金 AM 7:00
音量	30
チャンネル	BS103
オンタイマー	

オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
 - 1 ▲・▼で「オンタイマー」を選び、**決定** を押す
 - 2 ▲・▼で「オン」を選び、**決定** を押す
- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「オフ」を選びます。






日時

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。
 - 1 ▲・▼で「日時」を選び、**決定** を押す
 - 2 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を選ぶ
- 曜日は「1回」、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



日時
曜日と時刻を設定してください。
現在時刻 AM 9:13
▲
月～金 AM 7 : 00
▼

3 設定が終わったら、**決定** を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。
- ① ▲・▼で「音量」を選び、を押す
- ② ▲・▼でお好みの音量を選び、を押す
- を押すと、選んだ音量を聴くことができます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ③ 設定が終わったら、を押す
- ※ サウンドシステムスピーカーから音声が出力されている場合は、設定は出力に反映されません。この場合、を押しても、選んだ音量を聴くことができません。

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。
- ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、を押す
- ② 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
 - 放送の種類
ラストチャンネル／地デジ／BS／CS
 - チャンネル
設定した放送の種類に該当するチャンネル
- ※ ラストチャンネルは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)
- ③ 設定が終わったら、を押す

お知らせ

■ 「オンタイマー」について

- 本体の電源ボタンで電源を切ると「オンタイマー」が働きません。リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
- オンタイマーで電源がはいつてから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
- オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいつていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、**決定** を押す

オフタイマー
使用しない
あと30分
あと60分
あと90分
あと120分

- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに **サブメニュー** を押し「時計」を選択して **決定** を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

お知らせ

■ 「オフタイマー」について

- 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB (通常録画)端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダーにデジタル放送番組**を録画できます(データ放送、ラジオ放送番組、外部入力(HDMI1～2、ビデオ入力)、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません)。
- 接続については、製品同梱の取扱説明書の「録画機器を接続する」[\[27\]](#)をご覧ください。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク(HDMI連動)機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません(本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません)。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク <small>(注)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● USBハードディスクの電源を入れておきます。 ● USBハードディスクの残量を確認します。>>「機器の情報を確認する」 ● 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。>>「録画した番組を再生する」 ※ 残量不足や番組数超過(3000を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。>>「一つの録画番組を消す」
レグザリンク対応の 東芝レコーダー	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、「[機器の登録](#)」>>を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「[自動削除設定](#)」>>が「削除する」に設定されています。

ご注意

● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

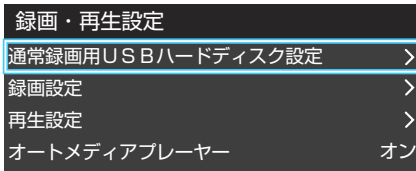
- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません(「[録画番組を修復する](#)」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります)。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む



- 2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
- ※ 登録できるのは8台までです。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
- 3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
 - 初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定**を押す


登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
- 3 文字入力画面で登録名を入力する
 - 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、**赤**を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
- 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき
録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき
再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
 - ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
 - ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
 - ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
 - ※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
 - ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ① ▲・▼で以下から選び、を押す
- **オン**… USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
 - **オフ**… 本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
- ① 取りはずす機器を▲▼で選び、**決定**を押す
- ② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
 - 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
- ③ USBハードディスクを取りはずし、**決定**を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。
- ① テストする機器を▲▼で選び、**決定**を押す
 - テストが始まります。終了までに数分間かかります。
 - テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - **録画**
ハイビジョン画質で録画ができるか
 - **録画中の再生**
ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
 - **録画中の早見早聞**
録画中にハイビジョン番組の**早見早聞**ができるか
- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

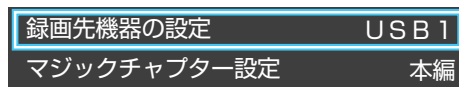
- ① 初期化する機器を▲・▼で選び、を押す
- ② 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す
- ③ 初期化終了の画面で を押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇨「録画設定」の順に進む

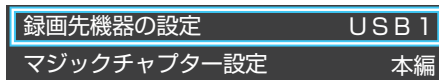
2 以降の手順で設定する



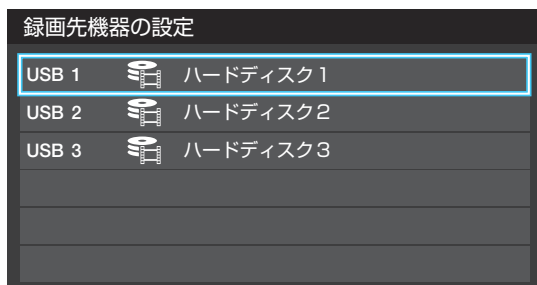
録画に使用する機器を設定する

- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

1 ▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、**決定** を押す



2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す



CHAPTER 分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でCHAPTER分割(章分け)されるように設定できます(CHAPTER分割をすると、再生時にCHAPTERスキップができるようになります)。

① ▲・▼で「マジックCHAPTER設定」を選び、**決定**を押す

② CHAPTER分割の場面を▲・▼で選び、**決定**を押す



- **本編** …………… 本編とCMの間でCHAPTER分割されます。
 - **音楽** …………… 楽曲の前後でCHAPTER分割されます。
 - **本編と音楽** …… 上記の両条件でCHAPTER分割されます。
 - **オフ** …………… CHAPTER分割をしません。
- ※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

レグザリンクダビングの 接続・設定をする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組をレグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、東芝レコーダーにダビングすることができます。
- ダビングの操作については[「録画番組をダビング\(ムーブ\)する」](#)、[「東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する」](#)をご覧ください。
- レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーと本機を接続する場合は、製品同梱の取扱説明書の「ホームネットワークについて」[\[29\]](#)と同じです。

東芝レコーダーと本機を接続する

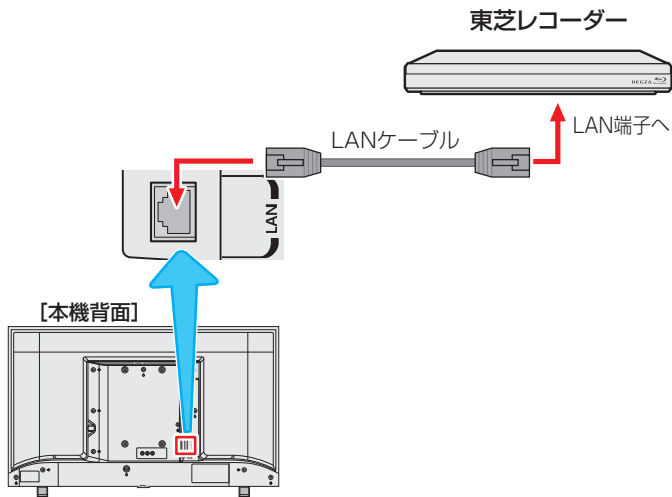
- 接続にはLANケーブルを使用します(ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能)。カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、製品同梱の取扱説明書の「ホームネットワークについて」と同じです。本機と東芝レコーダーのLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。
- ※ 無線LANで接続した場合は、通信が不安定になり、正常にダビングできないことがあります。

本機と東芝レコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と東芝レコーダーのLAN端子を直接接続します。



東芝レコーダーと本機を設定する

ルーターを経由して接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項目	設定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 またはレグザリンク連携機器設定	使う(フィルタ制限なし)
DHCP(自動取得)	使う
DNS(自動取得)	使う

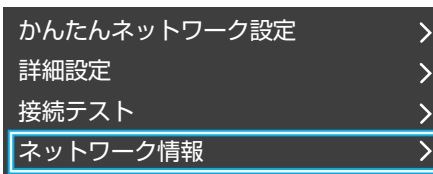
- 「接続テスト」をして「OK」が表示されることを確認します(インターネットに接続されている場合だけ)。

本機の設定をする

- お買い上げ時の設定(IPアドレス設定、DNSアドレス(IPv4)ともに自動取得)にします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」⇒「ネットワーク情報」の順に進む

- 表示される画面で「IPアドレス」と「DNSアドレス」が「自動取得」になっていることを確認します。



「手動設定」になっている場合

- 以下の操作で「自動取得」に設定します。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「アドレス設定（IPv4）」の順に進む
- 2 ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定（IPv4）

IPアドレス

自動取得

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス

自動取得

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー

使用する

サーバー名

ポート番号

設定完了

- 4 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで **決定** を押す

- 「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」になります。

- 2 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「接続テスト」を選び、**決定** を押す

- インターネットに接続していない場合は、本操作は必要ありません。
- インターネットに接続している場合は、「インターネットに接続できました。」が表示されることを確認します。

本機と東芝レコーダーを直接接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項目	設定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、 グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 またはレグザリンク連携機器設定	使う(フィルタ制限なし)
DHCP(自動取得)	使わない
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS(自動取得)	使わない
DNSサーバー	192.168.1.1

本機の設定をする

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「アドレス設定(IPv4)」の順に進む
- 2 ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲・▼で「手動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー

サーバー名

ポート番号

- 4 ▼で「アドレス」の入力欄に移動し、**1** ~ **10** で「192」、**168**、「1」、「20」と入力する
 - 入力欄を移動するには、◀▶を押します。
 - 入力した数字を消すには、**赤** を押します。
- 5 ▼で「サブネットマスク」の入力欄に移動し、**1** ~ **10** で「255」、「255」、「255」、「0」と入力する
- 6 ▼で「デフォルトゲートウェイ」の入力欄に移動し、**1** ~ **10** で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する
- 7 ▲・▼で「プライマリアドレス」の入力欄に移動し、**1** ~ **10** で「192」、「168」、「1」、「1」と入力する
- 8 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで **決定** を押す

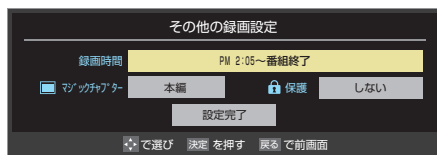
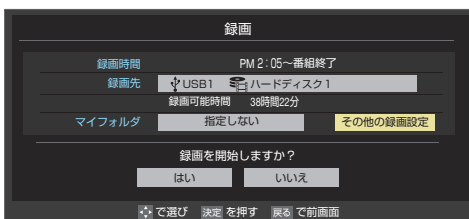
見ている番組を録画する

- 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
- ※ USBハードディスクに録画中はこの操作はできません。

1 テレビ放送を見ているときに **サブメニュー** を押し、▲・▼で「録画」を選び、**決定** を押す

- 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

2 録画設定を変更する場合は、▲・▼・◀・▶で「その他の録画設定」を選んで **決定** を押す



その他の録画設定でできる設定

● 録画時間の変更

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

- 1 「録画時間」で **決定** を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して **決定** を押す
- 2 「設定完了」を選び、**決定** を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) をご覧ください。

3 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、を押す

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」または「切」にします(録画は継続されます)。
- ※ 予約録画が始まる時は、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

1 録画中に  または  を押す

2 「録画中止」の画面で、◀▶で「はい」を選んで  を押す

留守録機能について

- 本機は、録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。
- ※ 録画中でも、地デジ・BS・CSが視聴可能です。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

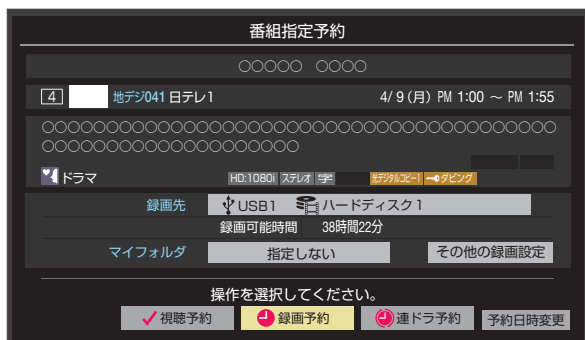
1  を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲・▼・◀・▶で選び、 を押す

- 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

- 録画機器や設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。





1 ▲・▼・◀・▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、 を押す

- 視聴予約：指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約：指定した番組の録画を予約します。
- 連ドラ予約：同じ番組を毎回録画します。 [》「連続ドラマを予約する」](#)

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「毎予約」が表示されます。

2 「予約を設定しました。」が表示されたら、 を押す

予約する日時を変更する場合

- 1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。
 - ① ▲・▼・◀・▶で「予約日時変更」を選び、を押す
 - ② メッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選び、を押す
 - ③ [「日時を指定して予約をする」](#)の手順3以降の操作をする

視聴予約について





- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、[「番組表で視聴制限を一時解除する」](#)をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

- 1 ◀▶で「はい」を選び、を押す
 - 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 2 予約を取り消す番組を▲・▼で選び、を押す
 - を押すたびにとが交互に切り換わります。
 - をつけた番組の予約が取り消されます。
- 3 を押して、取り消しを実行する

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- 1 を押す
- 2 「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で複数の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「[マルチ表示](#)」に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

地デジ番組表 4/9(月) 10(火)

1 011 1 012 2

NHK総合・東京 NHKEテレ

4/9(月) AM 9 00 激知りアワー カラオケキングとうとう1千万円で豪華な賞品獲得 今日の朝刊早読みチェック

00 今日の散歩 今日の目標はゆっくり5km

30 花壇のお手入れ 肥料をやりましょう

00 日本の経済 原油価格高騰に苦しむあの家...

00 うらデータ 55

30 プライスクラッシュ 欲しかったあの話題...

00 新しい健康家族 こ

00 プライスクラッシュ 欲しかったあの話題...

00 新しい健康家族 こ

00 うらデータ 55

選択したほうにつきます

こちらにはミニアイコンがつきます

マルチチャンネル放送時の別番組は、「マルチ表示」にすれば予約できます

同じ番組の場合は、どちらを選択しても予約できます

お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。 [▶「番組表を使う」](#)
(東芝レコーダーへの予約は表示されません)
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては録画できないことがあります。

連続ドラマを予約する

- 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
- ※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができません。

1 を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を で選び、 を押す

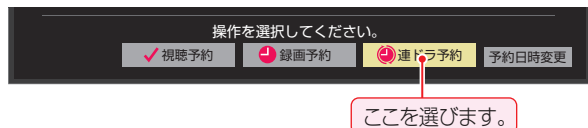
- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) への操作で、「録画先」を設定します。

4 で「連ドラ予約」を選び、 を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。


「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) への操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- ①  を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで  を押す
- ② 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
 - ※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては[「予約の確認・変更・取り消しをする」](#)を、予約の優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

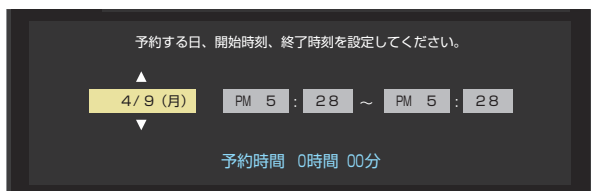
1 予約リストを押す

- サブメニューを押し、▲・▼と決定で「予約リスト」を選んでも同様の操作ができます。

2 青を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。
- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑を押して、視聴制限一時解除してください。

3 録画予約の日時を設定する

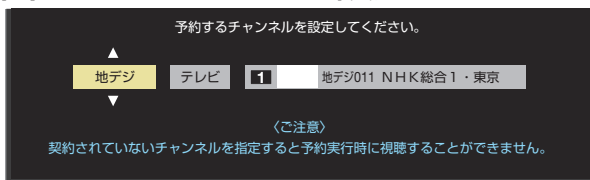


① 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら、決定を押す

4 録画するチャンネルを設定する



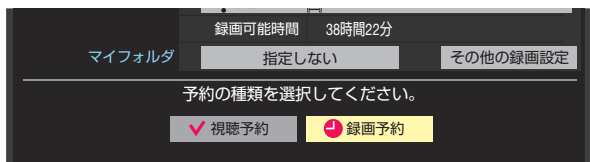
① 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選び

- 放送の種類… 地デジ / BS / CS
- 放送メディア… テレビ / ラジオ (BS、110度CSだけ) / データ
- チャンネル… 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら、決定を押す

5 録画設定を変更する場合は「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の手順で操作をする

6 ▲▼◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、「[メッセージが表示された場合](#)」をご覧ください。

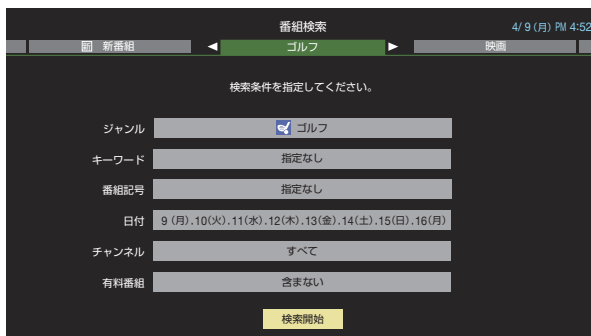
お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1  を押して、番組表を表示させる2  (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。



番組検索 4/9(月) PM 4:52

◀ 新番組 ▶

◀ ゴルフ ▶

映画

検索条件を指定してください。

ジャンル

キーワード

番組記号

日付

チャンネル

有料番組

3 「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順3～5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲▼で選び、 を押す


番組検索結果 4/9(月) PM 4:56

検索条件：ニュース/報道

<input type="checkbox"/>	団NEWS	放送中	7	地デジ071	4/9(月) PM 4:50	
<input type="checkbox"/>	首都圏のニュース団	放送中	4	地デジ041	4/9(月) PM 4:50	
<input type="checkbox"/>	Newsチャンネル	放送中	5	地デジ051	4/9(月) PM 4:50	
<input type="checkbox"/>	今日のニュース団	放送中	8	地デジ081	4/9(月) PM 4:50	
<input type="checkbox"/>	夕方のニュース		3	地デジ031	4/9(月) PM 5:00	
<input type="checkbox"/>	ニュース各地から		1	地デジ011	4/9(月) PM 5:05	
<input checked="" type="checkbox"/>	報道1団		6	地デジ061	4/9(月) PM 5:50	
<input type="checkbox"/>	ニュース(鷹の祭典)		1	地デジ011	4/9(月) PM 6:00	
<input type="checkbox"/>	ニュース		4	地デジ041	4/9(月) PM 6:45	

5 録画・予約をする



- 操作方法は、「番組表で予約をする」≫の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき



1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 録画・録画予約の「録画先」、「マイフォルダ」の設定は、画面上の「録画先」、「マイフォルダ」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したい録画先を選び、を押す

「マイフォルダ」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したいフォルダグループを選び、を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- ※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲・▼で内容を選び、を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

項目

録画先*

- 録画をする機器を選びます。

マイフォルダ

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。

マジックチャプター

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。
- 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ)。
- 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。
- マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。
- 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。
- ※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。
- ※チャプター数の上限(99個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

保護

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。 [▶「誤って消さないように保護する」](#)

連ドラ

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)▶をご覧ください。
- 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。

追跡キーワード

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。

追跡基準

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。

項目	
上書き録画	(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)
	<ul style="list-style-type: none"> 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。
放送時間	
	<ul style="list-style-type: none"> 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。 ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」をご覧ください。
録画品質	(USBハードディスクの場合はこの設定はありません)
	<ul style="list-style-type: none"> 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 「ハイビジョン画質(DR)」 デジタル放送をそのままの画質で録画します。 「録画先の設定画質」 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。

- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取り消しをする

- 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

1 予約リストを押す

- **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「予約リスト」を選んでも同様の操作ができます。
- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、**緑** を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、**決定**を押す



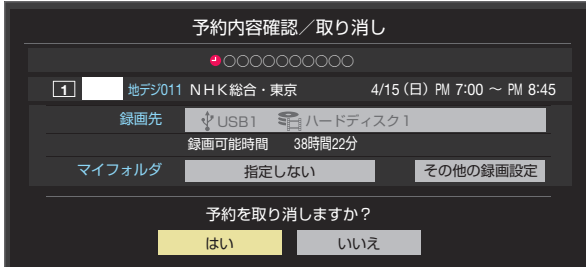
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
 は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。
 は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

- たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

- ① ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

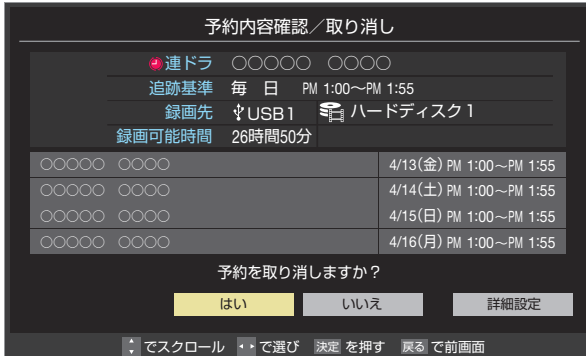


録画設定を変更するとき

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。




連ドラ予約を取り消すとき

- ① ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す



- 予約時間が重なっているときは、**!**が表示されます。
 ※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

- ① ▲・▼・◀・▶で「詳細設定」を選び、を押す
- ② ▲・▼で設定を変更する項目を選び、を押す
- ③ 設定画面に表示されている項目の内容については、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の表を参照してください。
- ③ ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

おまかせ録画

- おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。おまかせ録画は、「みるコレ パック」を使い、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに番組が録画されます。おまかせ録画の詳細や設定、「みるコレ パック」について詳しくは、ホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。
- ※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

- おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- インターネットを利用するための接続をする。
製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」**[20]**をご覧ください。
- [インターネットを利用するための設定](#)をする。
- [ネットワークサービス利用設定](#)を「利用する」に設定する。
- 「みるコレ パック」を使うための設定をする。 [▶「クラウドサービスの設定をする」](#)
- 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」を登録する。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

- **おまかせ録画** を押して、「**おすすめ録画リスト**」の画面を表示し、表示された画面から設定します。
 - **みるコレ** を押して表示される画面や、**タイムシフトリンク** を押して「おまかせ録画番組表」を選択し、表示される画面からも設定できます。

録画について

- **地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送のテレビ放送を録画します。**
 - 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
 - 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。
- **おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。**
 - 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時時間帯に2件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。
- **おまかせ録画の最大予約件数は32件です。**
 - おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

- **おまかせ録画は、通常録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。**
 - おまかせ録画領域は、「**おすすめ録画リスト**」の画面や**みるコレ**サービスのクラウド設定画面から設定できます。
 - 通常録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。
- **録画番組は、通常録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。**

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)がつかます。
また、録画リストの分類タブに「おまかせ」が追加されます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
 - おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または通常録画番組に変更することができます。
 - おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で **青** を押すと通常録画予約に変更できます。
 - おまかせ録画番組は、録画リストで **フタコ** を押し、「通常番組に変更」を選ぶと、通常番組に変更できます。
 - おまかせ録画番組は、ダビングすると自動的に通常番組に変更されます。

おまかせ録画でのご注意

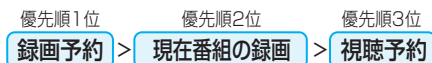
- 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの通常録画領域の容量を基に表示されます。
- おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
 - おまかせ録画番組は削除されません。
- 「[ネットワークサービス利用設定](#)」を「利用しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

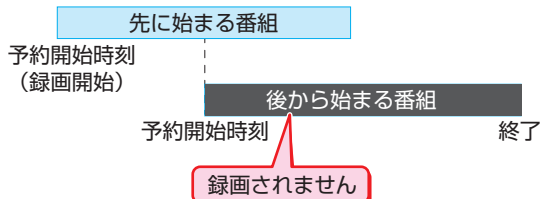
- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合後発の予約は実行されません

予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

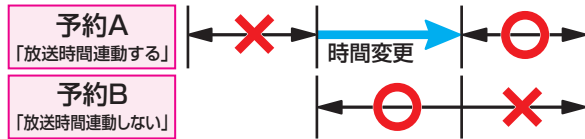
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

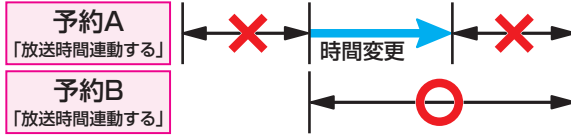


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

1 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

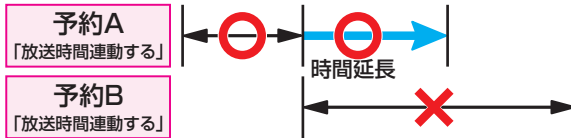
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



2 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。






3 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。
- ※レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、 または  を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まる時は、メッセージが表示されます。 を押し、[暗証番号](#)を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「[動画を再生する](#)」をご覧ください。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

録画リスト (例)



The screenshot shows a recording list interface with the following elements and labels:

- 分類タブ (Classification Tab):** Includes buttons for 'すべて' (All), '未視聴' (Not watched), '曜日別' (By day of week), 'ジャンル別' (By genre), '連ドラ別' (By serial drama), and 'マイフォルダ別' (By my folder).
- グループタブ (Group Tab):** Includes buttons for 'スポーツ' (Sports), 'マイドラマ' (My drama), 'ドラマ' (Drama), '音楽' (Music), and 'バラエティ' (Variety).
- 使用中の機器 (Device in use):** Shows 'USB1' and 'ハードディスク1'.
- 録画リスト (Recording List):** A table of recordings with columns for '番組番号 / 録画番組数' (Program number / Recording program count), '番組の並び順' (Program order), '放送日' (Broadcast date), '録画中アイコン' (Recording in progress icon), '未再生の番組' (Programs not yet recorded), '上書きアイコン' (Overwrite icon), 'コピー制御アイコン' (Copy control icon), '各マイフォルダのアイコン' (Each my folder icon), and '保護アイコン' (Protection icon).
- 録画可能時間 (Recording available time):** Shows '253時間00分' and '残量: 46%'.
- 自動削除機能 (Automatic deletion function):** Includes '自動削除' (Automatic deletion) and '録画可能時間: 253時間00分'.
- 操作ガイド (Operation Guide):** Includes buttons for '録画リスト切替' (Recording list switch), 'ハードディスク選択 (機器選択)' (Hard disk selection (device selection)), '削除' (Delete), '連ドラチャプター一覧' (Serial drama chapter list), 'ダビング' (Duplicating), and '録画' (Recording).

1 ≪・≫ で分類タブを切り換える

- **すべて** …… すべての録画番組が表示されます。
- **おまかせ** …… 「おまかせ録画」で録画された録画番組が表示されます。
- **未視聴** …… 未再生の録画番組が表示されます。
- **曜日別** …… 録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別** …… ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラ別** …… 「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- **マイフォルダ別** …… 指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

2 ◀▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「おまかせ」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「おまかせ」「未視聴」の状態、録画リストを表示しなおした場合、分類は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、を押してから、「視聴制限一時解除」を選んでを押してから暗証番号を入力してください。



3 見たい番組を▲▼で選び、を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、またはを押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

- 1 再生する番組を選んでから、を押し、▲▼で「頭出し再生」を選んでを押す

録画中の番組を再生するー 追っかけ再生

- 1 録画中の番組を▲▼を選んでを押す

CHAPTERの一章画面から再生する

- CHAPTERが分割されている録画番組でできます。
 - ① 再生する番組を▲・▼で選んで **緑** を押す
 - CHAPTER一覧画面が表示されます。
 - ② 再生するCHAPTERを▲・▼・◀・▶で選んで **決定** を押す
 - 選択したCHAPTERの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- ① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **決定** を押す
 - 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。
- ② **1** ~ **10** (0) で時間を指定する











例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 (0) **1** **2** **5** **10** (0) **5** の順に押します。

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています)。
- 録画リストについて
 - 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
 - 録画リストに表示できる最大数は3000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
 - 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。


録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内容
	<p>一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押し続けると、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 放送番組の視聴中に押し続けると、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
	<p>再生中に押し続けると一時停止になり、もう一度押し続けると再生が再開されます。</p>
	<p>再生を終了し、放送画面などに戻ります。</p>
	<p>早送り再生をします(押したびに速さが変わります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し続けるとコマ送りができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押し続けると、押したびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	<p>早戻し再生をします(押したびに速さが変わります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し続けると0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなる場合があります。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	<p>再生中に押し続けると、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 シーン検索のように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
	<p>再生中または早見早聞での再生中に押し続けると、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。</p>
	<p>再生中または早見早聞での再生中に押し続けると、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。</p>
	<p>次のチャプターの先頭にスキップして再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	<p>現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押し続けた場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押し続けた場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。





録画リスト

再生中に押すと、録画リストが表示されます。

- 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

- ※録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ/ワンタッチリプレイの時間を変更する

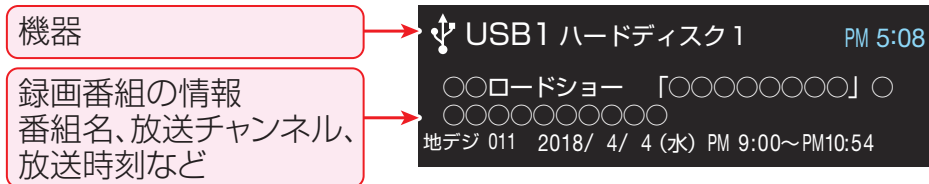
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくこと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- 1  を押し、▲・▼と  で「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、 を押し
 - 3 ▲・▼で時間を選び、 を押し

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① 再生中に **画面表示** を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



再生タイムバー



② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

番組説明を見る

① **番組説明** を押す

- 番組説明画面が表示されます。
- **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組説明」を選んでも同様の操作ができます。


② 番組説明画面を消すには、**終了** を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。


録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。
- ① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇨「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む
- ② ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押し
- ③ 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押し
- ④ 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押し
- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- ⑤ 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押し
- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- ※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

シーン検索について

-  を押すと、番組をより便利に楽しくお使いいただけるクラウドサービスが利用できます。シーン検索については、クラウドサービスのホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

シーン検索の利用に必要な準備

- インターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 )と[インターネットを利用するための設定](#)が必要です。
- [「ネットワークサービス利用設定」](#)の設定が必要です。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

見たい録画番組を探して再生する

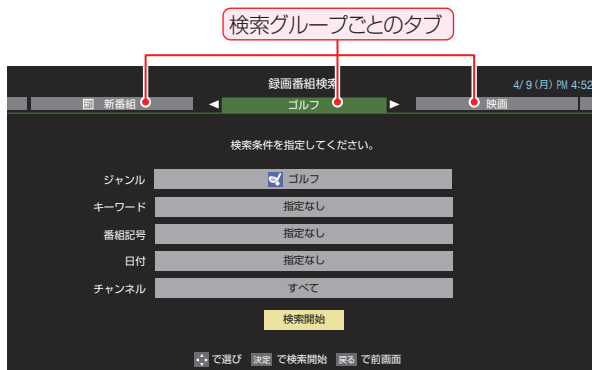
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探することができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1 録画リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「番組検索」を選び、**決定** を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを ◀・▶ で選ぶ

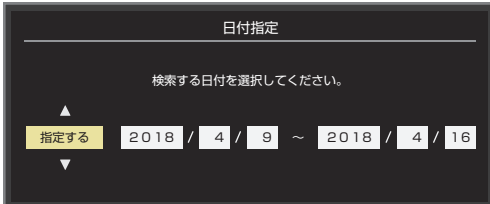


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「[条件を絞りこんで番組を探す](#)」の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

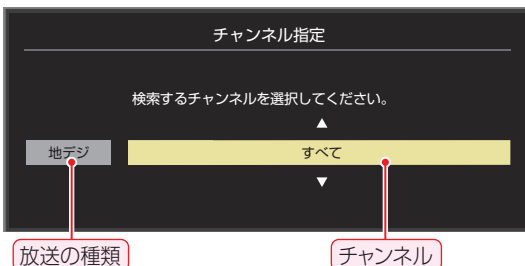
- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



- 2 ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- **放送の種類** すべて / BS / CS / 地デジ
 - **チャンネル** 指定した放送の種類に該当するチャンネル / すべて
- 3 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、**決定**を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲・▼で選び、**決定**を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う



- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「再生設定」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 1コンテンツリピート
選択した一つの番組の再生を繰り返します。
 - リピート
すべての番組の連続再生を繰り返します。
 - オフ
繰り返し再生をしません。
- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます(1コンテンツリピート: 、リピート: )。
 - 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 新しい順……日付の新しい順に表示されます。
- 古い順……日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 **青** を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲・▼で選び、を押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んでを押す

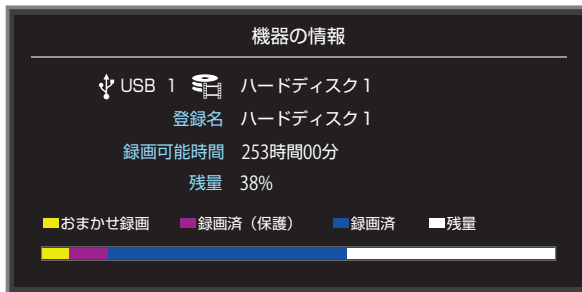
- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
 - ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで 決定 を押す

- 機器の情報画面が表示されます。
例：USBハードディスクの場合



2 情報画面を消すには、決定 を押す

次みるナビで楽しむ

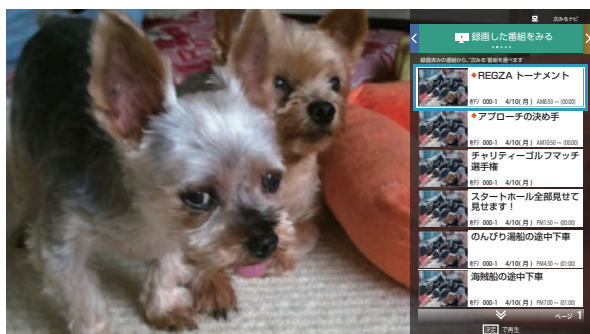
- **次みるナビ** を使うと、視聴しながら次に見る録画番組を選んだり、再生したりできます。
- インターネットに接続すると、お好みのテーマや視聴中の番組の出演者から番組を探したり、おすすめのネット動画を探したりできます。

録画した番組を見る

1 **次みるナビ** を押す


- 次みるナビ画面が表示されます。

2 ◀▶ を押して、「録画した番組をみる」リストを選ぶ



3 ▲▼ を押して、見たい番組を選び、**決定** を押す

もっと便利に、お好みの番組を選ぶ

- インターネットに接続すると、以下のようなサービスが利用できます。
 - **お気に入りジャンル／テーマから選ぶ**
ドラマや音楽などのジャンル、また、アイドルやタレントなど、お気に入りに追加した「みるコレ パック」が表示されます。
 - **出演者のほかの番組を選ぶ**
見ている番組の出演者一覧が表示されます。人物を選んで  を押すと、その人物が出演する他のドラマやYouTube™の動画などが見られます。
 - **YouTube™ を見る**
YouTube™のおすすめ動画が表示されます。
 - ※ お買い上げの時期によっては、「YouTube™を見る」のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

お知らせ

- 視聴中の番組の出演者から番組を探したり、お好みのテーマやおすすめのネット動画を探すには、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、インターネット設定を行うためのボタンが表示されます。
- 「次みるナビ」や「みるコレ パック」の詳細については、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する

- 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

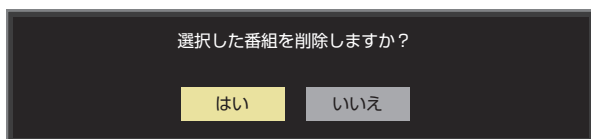
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除してから **赤** を押してください。>>「[誤って消さないように保護する](#)」

2 ▲・▼で「1件削除」を選び、**決定** を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す



4 削除が終了したら、**決定** を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

2 ▲・▼で「複数削除」を選び、**決定**を押す

3 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、とが交互に切り換わります。削除する番組にをつけます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

をつけた番組が削除されます

青は**青**で解除してから



4 選択が終わったら**赤** (削除実行)を押す

5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

6 削除が終了したら、**決定**を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる

- [「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#) 》の手順2をご覧ください。

2 (削除) を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、 を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

4 削除が終了したら、 を押す

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 を押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで を押す

2 ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、 を押す

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。
- ※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「保護」を選び、決定を押す

- 選択した番組が保護されます(🔒がつきます)。
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

- 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

2 チャプター編集をする録画済番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で**静止**を押す

- 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



- ◀▶ で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押すとコマ送りができます。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀◀	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

4 青 または 赤 でチャプター編集をする

- 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
- 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
- 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀▶で選ぶ

例 「わたし」のグループを選択



3 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。


4 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例 「わたし」⇒「まさみのお気に入り」に変更



他のグループに移動する


- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「 わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。
- ※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。
- ※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3 移動する番組を▲▼で選ぶ















4  を押し、▲▼と  で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲▼で以下から選び、 を押し

- 1件変更
選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲・▼で選び、**決定**を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

- ① 移動する番組を▲・▼で選び、**決定**を押す
- **決定**を押すたびに、とが交互に切り換わります。移動する番組にをつけます。
- 保護されている番組は移動できません。

移動する番組にをつけます



- ② 移動する番組をすべて選んだら **決定**を押す

8 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定**を押す

録画番組をダビング(ムーブ)する

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
 - 機器の接続や設定については、[「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#)をご覧ください。
 - USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけです。
 - レグザリンクダビングに対応しているDTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。
- ※ USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組をUSBハードディスクに戻すことはできません。
- ※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ DTCP-IP対応サーバーへのダビング時には、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
- ※ ダビング中の番組は再生できません。

USBハードディスク間でムーブする

- 1 録画リストを表示させる(>> 「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」 1～2)

- 2 ダビングする番組を▲・▼で選び、**黄**を押す

- 3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、**決定**を押す

- 4 ダビング先を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、とが交互に切り換わり、をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

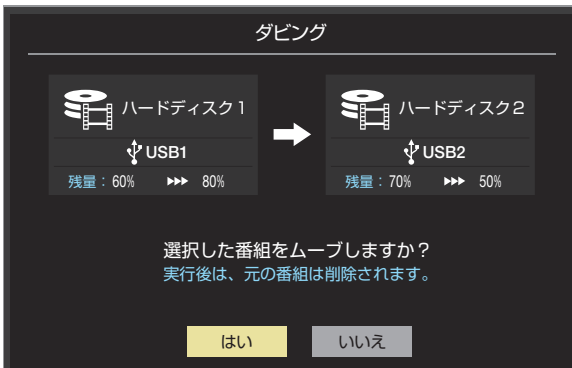
をつけた番組がダビングされます は青で解除してから



② ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

6 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す



東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

- DTCP-IP対応の東芝レコーダーにネットワーク経由でダビングをすることができます。
- ※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

- [「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#) 》と同じです。

2 ネットワークの設定を確認する

- [「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#) 》と同じです。

ダビングの操作

- **「USBハードディスク間でムーブする」**の操作手順と同じです。

手順**4**で、LAN接続したDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。



- ※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順**6**の「ダビング」画面で、必要に応じて▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、**決定**を押して✓をつけます(この機能に対応しているレコーダーだけ)。



ダビング終了後にレコーダーの電源を切るには、をつける



ブルーレイディスクに手間なくダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。
- ※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
 - 東芝レコーダー対応機種 形名（2020年4月現在）
DBR-M4008、DBR-W2009
他の対応機種については、下記URLをご覧ください。
<https://www.toshiba.co.jp/regza/>
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

- [「ネットワーク接続でダビングする」](#) 》の「準備」を参照してください。

ダビングの操作

- 1 録画リストを表示させる(》[「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#) 1～2)
- 2 ダビングする番組を▲・▼で選び、を押す
- 3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、を押す

4 ダビング先を▲・▼で選び、決定を押す

- 対象の東芝レコーダーをダビング先に指定します。

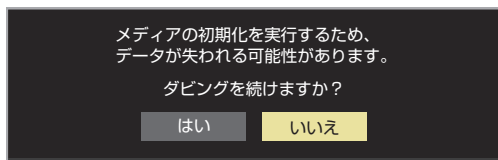


5 ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲・▼で選び、決定を押す



メッセージが表示されたとき

- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。
「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます(レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください)。



- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足していると、以下のメッセージが表示されます。

メディアの残量が不足しているため、ダビングできません。

決定 を押す

- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。

「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります

ぴったりダビング

1枚のディスクにおさまるように圧縮してダビングします。
よろしいですか？

はい

いいえ

6 「複数ダビング」の場合は「[USBハードディスク間でムーブする](#)」の**手順5**の操作をする

- この場合は選択した順番でダビングされます(☑の右側に順番を表す番号が表示されます)。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、**決定** を押して✓をつけてから「はい」を選びます。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、**手順5**のメッセージが表示されます。
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。

外部入力画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1~2、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」[\[16\]](#)をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- 入力切換 を押すと次の入力を選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3の操作をします。
 - [「外部入力スキップ設定」](#)が「する」になっている入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 入力切換 を繰り返し押すか、または▲・▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。



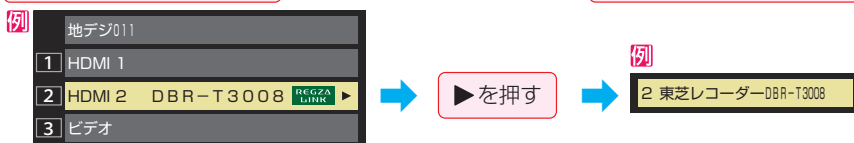
- ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。
- 入力一覧画面の左側に表示された番号のリモコンボタンを押して、入力を切り換えることもできます。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動機器は、入力一覧画面に **REGZA LINK** ▶ が表示されます。
 - **REGZA LINK** ▶ が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
 - HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

入力切換 または ▲・▼ で選ぶ

▲・▼ で選んで **決定** を押す



4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、**「映像メニュー」**を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方
 - 1 **サブメニュー** を押す
 - 2 ▲・▼ で「機器操作」を選び、**決定** を押す
- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、**「本機のリモコンで対応機器を操作する」** をご覧ください。

お知らせ

- 本体ボタンでも、「入力切換」ができます。▶[「本体ボタンによる「機能切換」について」](#)
- 本体ボタンで「入力切換」を選んだ場合、入力一覧画面に番号が表示されず、リモコンの番号ボタンで入力を選ぶことはできません。
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。[「外部入力表示設定」](#)をご覧ください。

外部入力機能を設定する

- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

外部入力表示設定	>
外部入力スキップ設定	>
HDMI自動画質モード設定	>
RGBレンジ設定	>
Dolby Digital Plus入力設定	通常モード
ビデオ音声入力設定	ビデオ音声

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

① ▲・▼で「外部入力表示設定」を選び、**決定**を押す

② 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	ブルーレイ
HDMI 2	ブルーレイ
ビデオ	ブルーレイ

③ 表示させる機器名を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

HDMI 1	
ブルーレイ	DVD
VTR	CATV
ゲーム	チューナー
PC	ムービーカメラ
表示しない	

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

使用しない外部入力をスキップする

- 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

① ▲・▼で「外部入力スキップ設定」を選び、**決定**を押す

② 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	しない
HDMI 2	しない
ビデオ	しない

③ ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

- する …… 入力切換時に入力をスキップします。
- しない …… 入力切換時にスキップしません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

Dolby Digital Plusの入力を設定する

- HDMI端子の入力設定をDolby Digital Plus対応サウンドシステムと連動するかどうかを設定します。
- ① ▲・▼で「Dolby Digital Plus入力設定」を選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す
 - **連動する：**
本機のHDMI入力1(ARC)端子に接続したDolby Digital Plus対応サウンドシステムに適した音声設定を、本機のHDMI端子に設定します。
 - **連動しない：**
本機のDolby Digital Plus設定で動作します。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

- HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。
- ① ▲・▼で「HDMI自動画質モード設定」を選び、**決定**を押す
- ② 設定するHDMI入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	コンテンツ連動オン
HDMI 2	コンテンツ連動オン
HDMI 3	コンテンツ連動オン

- ③ ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す
 - **コンテンツ連動オン**…… 入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
 - **自動ゲームモード**…… 入力映像がRGB信号の場合に、「映像メニュー」が自動的に「ゲーム」になります。
 - **オフ**…… この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

- 1 ▲・▼で「RGBレンジ設定」を選び、**決定**を押す
- 2 設定するHDMI入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

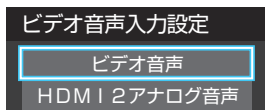


- 3 ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す
 - オート …………… 自動切替になります。
 - フルレンジ …… RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
 - リミテッドレンジ… RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

ビデオ入力の音声入力を設定する

- HDMI入力2端子に接続した機器からの音声を本機から出したときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。

- 1 ▲・▼で「ビデオ音声入力設定」を選び、**決定**を押す
- 2 ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す



- **ビデオ音声**
ビデオ入力の音声入力端子として使用します(お買い上げ時の設定)。
- **HDMI 2アナログ音声**
HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能	使用する
リモコン動作モード	テレビ優先
連動機器→テレビ入力切替	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
サウンドシステム連動	スピーカー・音質連動
電源オン時優先スピーカー	テレビスピーカー
サウンドシステム音声入力	>
東芝レコーダー連携機能	使用する
機器操作メニュー自動表示	使用しない

3 設定したい項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。
- ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- ※ 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は働きません。リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしてください。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります)。
- ※ 本機の「[省エネ設定](#)」や「[オフタイマー](#)」とも連動します。

サウンドシステム連動

- テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。
 - **スピーカー・音質連動**
サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整、音質調整を使用するときに選びます。
 - **スピーカー連動**
サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整を使用するときに選びます。
 - **連動しない**
サウンドシステムのスピーカー切換や音量調整を使用しないときに選びます。

電源オン時優先スピーカー

- 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。
- ※ 「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定した場合に設定できます。
 - **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声が出ます。
 - **サウンドシステム**
オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。
▶ [「オーディオ機器\(サウンドシステム\)で聴く」](#)
- ※ サブメニューでスピーカーを切替えた場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

オーディオシステム音声入力

- 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。
 - 例 HDMI 2入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力3」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、「HDMI 2」を選んで **決定** を押してから、「入力3固定」を選んで **決定** を押します。

東芝レコーダー連携機能

- 「使用する」に設定すると、東芝のレコーダーと連携した高画質化機能が利用できます。
- ※ 映像が不自然に見えるときは、「使用しない」を選んでください。

機器操作メニュー自動表示

- 「使用する」に設定すると、本機に接続したレグザリンク対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器(レグザリンク対応レコーダーなど)：3台、再生機器(東芝のプレーヤー/PCなど)：3台までに制限されます。
- 「サウンドシステム音声連動」の対応機器については、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。
- 「連動機器→テレビ入力切替」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- **入力切換** の操作でレグザリンク(HDMI連動)対応機器が接続された入力(HDMI1～2)を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選ぶとサブメニューが表示されます。
- ① **サブメニュー** を押し、▲▼で「機器操作」を選んで **決定** を押す

例



- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤーなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、[「本機のリモコンでできるおもな操作」](#)をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます(機器操作メニューを再表示させるには、手順①の操作をします)。

タイムシフトマシン

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。

始めにジャンプ

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。

レグザメニュー（スタートメニュー）

- 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）。

番組表

- 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧(見るナビ)

- 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）。

録画予約一覧

- 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー

- 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー

- 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示

- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

ドライブ切替

- ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。

入力切替

- 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源

- で電源の「入」、「待機」ができます。

その他の操作メニュー

トップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切換

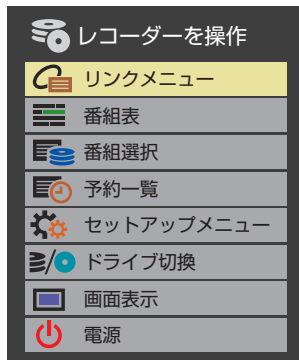
- W録選択を切り換えます。

タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
 - タイムシフトマシン対応東芝レコーダー については、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。
- ① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「タイムシフトマシン機器」を選んで **決定** を押す
 - 機器の過去番組表が表示されます。
- ② ▲・▼・◀・▶で再生したい番組を選び、**決定** を押す
 - 「番組指定再生」画面が表示されます。
- ③ ◀・▶で「見る」を選び、**決定** を押す
 - 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- ④ **タイムシフトマシン再生を終了するには、** **終了** を押す
 - ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
 - 番組を選び直すには、上記手順①～③をします。

HDMI-CEC対応の機器

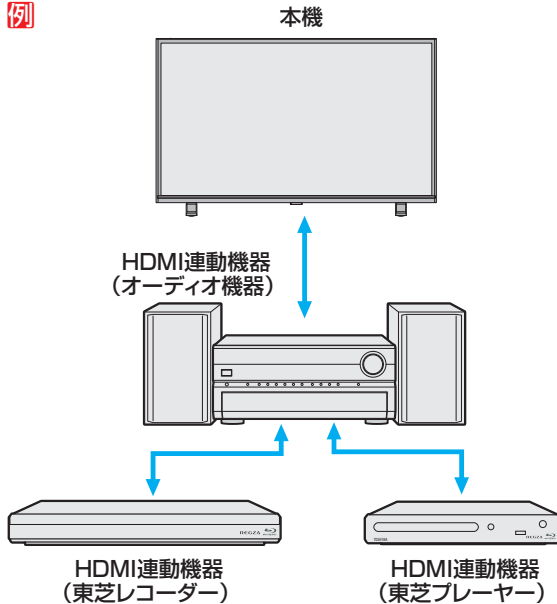
- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



HDMI連動機器に接続された機器

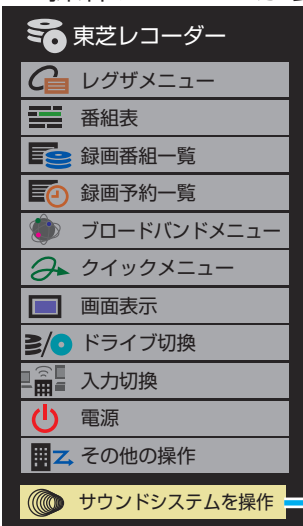
- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下ようになります。

例



東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「サウンドシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。



本機のリモコンでできるおもな操作

- HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
- ※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	番組を再生します。
	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
	再生中に押すと少し戻って再生します。
	メニューなどで項目を選択します。
	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
	一つ前の操作に戻ります。
	操作を終了します。



本機の リモコンボタン	動作の内容
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を実行します。
赤	
緑	
黄	
+ 音量 -	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

レグザサウンドシステムで聴く

- 東芝のレグザサウンドシステムをHDMIケーブルで接続すると、レグザサウンドシステムで音声を聴くことができます。

ご注意

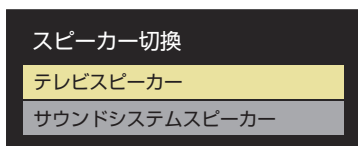
- レグザサウンドシステムはHDMI入力1 (ARC)端子に接続してください。
- 光デジタルケーブルだけで接続した場合は、操作できません。
- 使用できる機能は機器によって異なります。

お知らせ

- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「**通常モード**」選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザサウンドシステム対応機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「**スピーカー切換**」を選んで **決定** を押し

2 ▲・▼でお好みのスピーカーを選ぶ



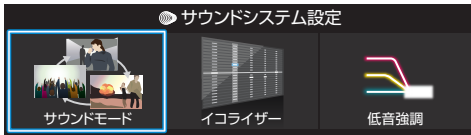
- ・ **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声を出します。
- ・ **サウンドシステムスピーカー**
レグザサウンドシステムから音声を出します。
- レグザサウンドシステムの電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、**「HDMI連動設定」**を以下のように設定します。
 - ・ HDMI連動機能.....使用する
 - ・ サウンドシステム連動.....スピーカー・音質連動

3 音量を調節する

- 本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

レグザサウンドシステムの音声を設定する

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サウンドシステム設定」を選んで **決定** を押し



- サウンドシステム設定メニューが表示されます。

- 2 ◀▶で設定する項目を選び、**決定** を押し

- 3 お好みの音声に調整する

サウンドモード

- 見る番組の種類に応じて、お好みのサウンドモードを選ぶことができます。
- 「オート」に設定すると、ジャンルに適した音声を聴くことができます。
- ※ 表示されるメニューは機器によって異なります。

イコライザー

- 音質を詳細に調整できます。詳しくは「[イコライザー](#)」を参照してください。

低音強調

- 低音強調のレベルを「オフ」「弱」「強」から選びます。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1(ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、[「ヘッドホン／音声出力設定」](#)で「音声出力」を選び、「音声出力設定」を「固定」に設定します。
- HDMI連動(レグザリンク)に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

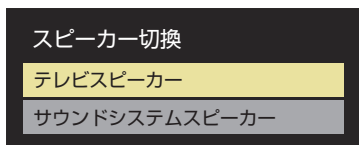
お知らせ

- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。
- サウンドシステム音声連動対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「サウンドシステムスピーカー」または「音声出力」を選び、**決定** を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
 - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている)。
 - **[HDMI連動設定]**が以下のように設定されている。
 - HDMI連動機能.....使用する
 - サウンドシステム連動スピーカー・音質連動
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。




3 音量を調節する

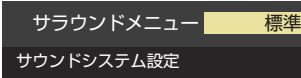
- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。
- ※ レグザリンク非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」>>>の「音声出力設定」に従った方法で音量を調節してください。
 - **固定**…… オーディオ機器で音量を調節します。
 - **可変**…… 本機のリモコンで音量を調節します。

ヤマハオーディオ機器の音声を調整する

- 音声連動対応のヤマハオーディオ機器が接続されている場合、サラウンドメニューでお好みの音声に調整することができます。
- ※ 接続する機器によっては、一部の機能を使用できない場合があります。
- 音声連携対応のヤマハオーディオ機器に電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「[HDMI連動設定](#)」を以下のように設定します。
 - HDMI連動機能……………使用する
 - サウンドシステム連動……スピーカー・音質連動

1  を押し、▲・▼で「サウンドシステム設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「サラウンドメニュー」を選び、  を押す



3 お好みの音声に調整する

サラウンドメニュー

- 視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。
- ※ 画面に表示されるサラウンドメニューは、ヤマハオーディオ機器側のサラウンドメニューの内容と一致しないことがあります。
- 「おまかせ」に設定すると、ヤマハオーディオ機器のスピーカーから番組のジャンルに適した音声が出るようになります。

タイムシフトリンク機能を使う

- タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。
- ※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定(製品同梱の取扱説明書 **29**)、およびタイムシフトリンク機能の設定(製品同梱の取扱説明書 **34**)が必要です。

タイムシフトリンクメニューを表示する(基本操作)

- タイムシフトリンク機能を使った操作をします。

1 タイムシフト リンクを押す

- タイムシフトリンクメニューが表示されます。



- 本機およびタイムシフトリンク機能で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

2 ◀▶を押して、操作するメニューを選び、**決定**を押す

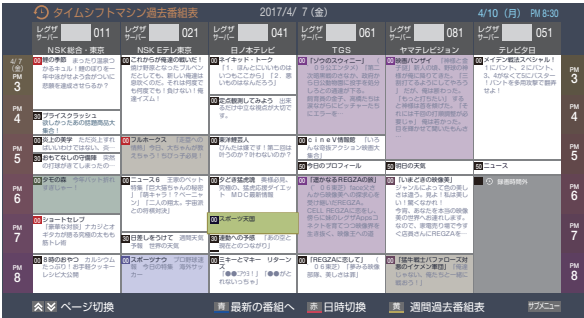
- ※ 「はじめにジャンプ」と「機器操作」は、HDMIケーブルも接続している、「HDMI連動機能」が「使用する」のときに操作できます。

タイムシフトマシン録画番組を見る

- タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を表示させ、タイムシフトマシン録画番組を選びます。
- ※「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」(製品同梱の取扱説明書 34)の操作をした直後は、選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

1 タイムシフトリンク を押し、◀▶で「過去番組表」を選び、決定 を押す

- タイムシフトマシン録画の過去番組表が表示されます。




- 「週間過去番組表」については「週間番組表を表示させる」ををご覧ください。
- テレビの状態によっては、日時の古い番組が表示されないことがあります。

2 見たい番組を▲▼◀▶で選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには、◀▶を押します。
- 青 を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- 赤 を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。「指定した日時の番組表を表示させる」の手順2をご覧ください。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」を選びます。
- 選んだ番組の番組説明を見るには、番組説明 を押します。

3 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 再生中の番組の番組説明を見るには、を押します。

4 タイムシフトマシン再生を終了するには、または を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順1から操作します。

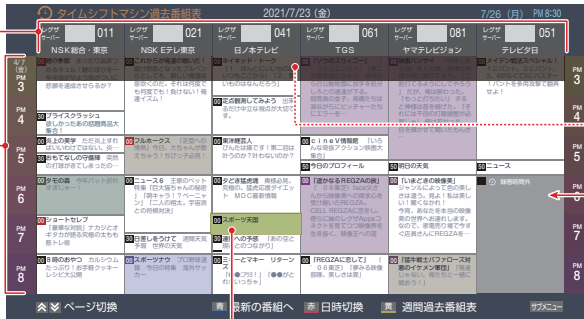
過去番組表について

- タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては、録画中の番組(放送中の番組)は表示されません。

〔過去番組表の例〕

タイムシフトマシン録画のチャンネルが表示されます。

タイムシフトマシン録画で録画された時間帯だけが表示されます。



自動削除によって再生できない時間帯

録画時間外はグレーの帯で表示されます。

選択されている番組

- ※ グレーに表示されている番組は、「[番組表を更新する](#)」の操作をすると表示される場合があります。

ご注意

- 「タイムシフトリンク機能」が「使用しない」になっているとき、またはHDMIケーブルだけで接続しているときは、タイムシフトマシン対応の東芝レコーダーの過去番組表が表示されます。その場合の過去番組表の操作は、東芝レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- タイムシフトリンク機能を使って本機が表示する過去番組表は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器の情報を基に本機が作成した過去番組表になります。タイムシフトマシン搭載の東芝レコーダーが表示する過去番組表とはデザイン、レイアウトが異なります。
- 表示できる番組数には制限があります。日時の古い番組は表示されないことがあります。
- タイムシフトリンク機能で選んだ機器が自動削除をしている時間帯の番組は、再生できなかったり途中からの再生になったりします。

過去番組表を便利に使う

- 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀▶ で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、**黄** (週間過去番組表) を押す

- ◀・▶ で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。

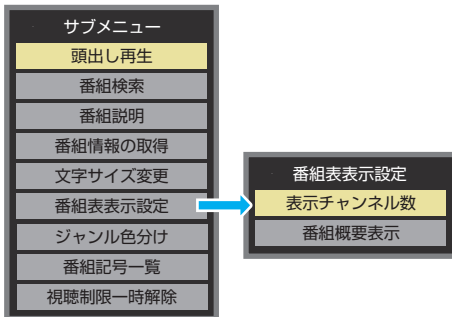
サブメニューを使って操作する

- 過去番組表が表示されているときに **サブメニュー** を押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 **サブメニュー** を押す

- 過去番組表のサブメニューが表示されます。

2 設定する項目を ▲・▼ で選んで **決定** を押し、以降を参照して操作する



- 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。
該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル
番組説明	「番組説明を見る」 》
ジャンル色分け	「ジャンル別に色分けする」 》
番組記号一覧	「番組記号の説明を見る」 》
番組概要表示	「番組概要の表示／非表示を設定する」 》
視聴制限一時解除	「番組表で視聴制限を一時解除する」 》

頭出し再生

- 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見る
ことができます。

① ▲・▼で「頭出し再生」を選び、**決定**を押す

「番組検索」で見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

- タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を
探して視聴することができます。

① ▲・▼で「番組検索」を選び、**決定**を押す

② 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

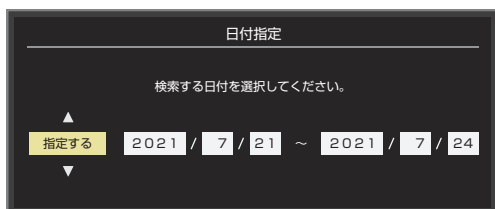
③ 検索条件を指定する

- 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、[「条件を絞りこんで番組を探す」](#) » の手順 4 と同じです。

※ 過去番組表で番組検索する場合、「ジャンル」の「サブジャンル」は「ゴルフ」、「サッカー」、「野球」、「相撲・格闘技」、「競馬・公営競技」、「ショッピング・通販」、「グルメ・料理」、「天気」、「交通」の検索ができます。他の「サブジャンル」は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては検索できません。

■ 「日付」を指定するとき

① ▲・▼で「日付」を選び、**決定**を押す



② ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ

③ ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を
▲・▼で選ぶ

④ 指定が終わったら、**決定**を押す

■ 「チャンネル」を指定するとき

① ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す

② ▲・▼・◀・▶でチャンネルを選び、**決定**を押す

● タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。

④ ▲・▼で「検索開始」を選び、**決定**を押す

● 検索にはしばらく時間がかかることがあります。

● 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

⑤ 「番組検索結果」画面からお好みの番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

● 再生が始まります。

■ 頭出し再生をする

● 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

① ▲・▼で頭出し再生をしたい番組を選び、**赤**(頭出し再生)を押す

番組表を更新する

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を更新します。

① ▲・▼で「番組情報の取得」を選び、**決定**を押す

● 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときには、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

文字サイズ変更

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

① ▲・▼でお好みの文字の大きさを選び、**決定**を押す

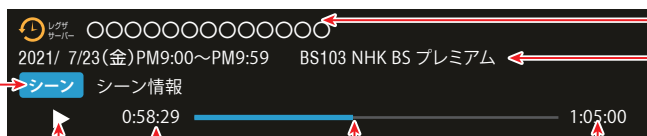
表示チャンネル数

- お買い上げ時は、録画チャンネル数が1～4のときは4チャンネル表示、5～6のときは6チャンネル表示、7のときは7チャンネル表示になりますが、以下の操作で表示するチャンネル数を変更することができます。
- 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。
- ① ▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む
 - 9チャンネル表示も選ぶこともできます。
 - ※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。
- ② ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、**決定** を押す

番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に **画面表示** を押すと、画面左下に番組情報やタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。

シーンの情報



番組名

放送時刻
(番組が放送されたときの日時)
放送チャンネル

動作状態

再生位置カウンター

再生位置

番組総時間



タイムシフトマシン再生中のできるリモコンの基本操作

- 本機のリモコンで以下の再生操作ができます。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押し続けると、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。
	再生中に押し続けると一時停止になります。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中にもう一度押し続けると、再生が再開されます。
	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けると、連続コマ送りになります。連続コマ送り中に押し続けると、押すたびに速さが変わります(2段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中または可変再生中に押し続けると、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または可変再生中に押し続けると、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	再生中に押し続けると、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 ざんまいスマートアクセスのように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。



本機の リモコンボタン	動作の内容
	<p>次の番組を再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは働きません。
	<p>再生中の番組の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の番組の先頭にスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは、再生中の番組の先頭にスキップして再生します。

- 「始めにジャンプ」でタイムシフト再生を行う場合、タイムシフトリンク先の機器による再生動作になります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、接続機器の設定・機能によって異なる場合があります。
- ※ 録画番組によっては、「[早見早聞](#)」が正しく動作しないことがあります。

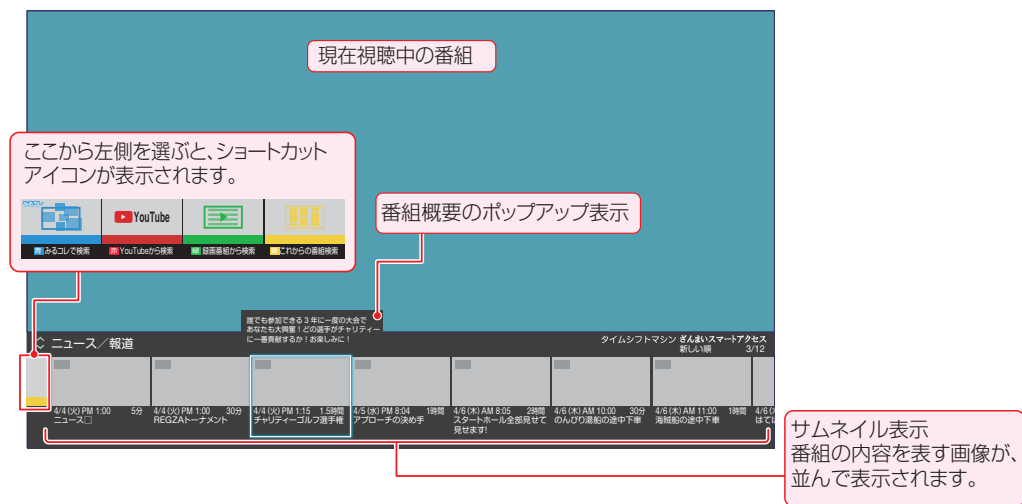
タイムシフトマシン録画番組をざんまいスマートアクセスで楽しむ

- タイムシフトマシン録画番組の中からお好みの番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。

お好みの番組を選ぶ

- 1 **タイムシフトリンク** を押し、◀▶で「ざんまいスマートアクセス」を選び、**決定** を押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。



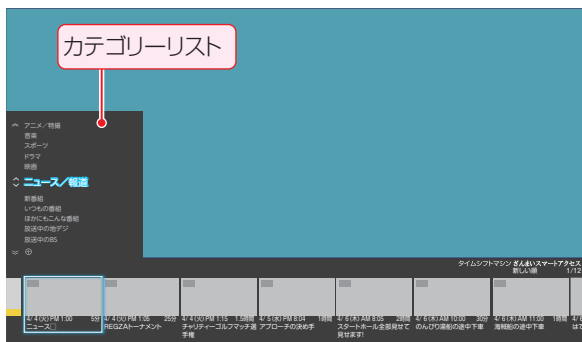
お知らせ

サムネイルの種類について

- 番組のジャンルを表すアイコンが表示されます。
- 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「▶」(録画番組)、「地」(地デジ番組)、「BS / CS」(BS / CS番組)が表示されます。

2 ▲▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

- サムネイルが表示されます。



3 ◀▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、決定を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- タイムシフトマシン再生の操作については、[「タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作」](#)をご覧ください。
- 放送中の番組を選んで決定を押した場合は、選んだ番組が選局されます。
- 視聴制限番組の場合は、ポップアップの番組概要や番組タイトルが伏せ字(「****」)で表示されます。

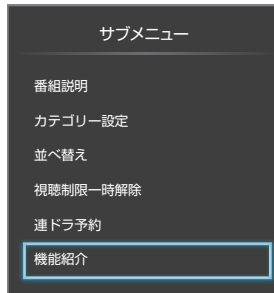
カテゴリーリストについて

- カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面でがついている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、「カテゴリーリストの項目を変更する」の操作で確認することができます。
- カテゴリーは、あとからお好みの内容に変更することができます。

機能紹介を見る

- ざんまいスマートアクセスの楽しみかたを紹介する、機能紹介を表示します。

1 ざんまいスマートアクセスの画面を表示中に、サブメニューを押し、▲・▼で「機能紹介」を選び、決定を押す



- 機能紹介の画面が表示されます。
- 機能紹介の画面では、決定を押すと次の画面に進み、戻るを押すと前の画面に戻ります。

最後の画面で決定を押すと、機能紹介が終了し、ざんまいスマートアクセスの画面に戻ります。

- ◀▶を押しても画面を進める(または戻る)ことができます。

カテゴリーをお好みに変更する

- カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

カテゴリーリストの項目を変更する

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「カテゴリー設定」を選び、**決定** を押す

- カテゴリー設定画面が表示されます。
 - ※ 下のカテゴリー設定画面イラストは、イメージになります。実際の画面とは若干異なります。



選ばれているカテゴリーの説明が表示されます。

- カテゴリーリストの⊕を選んでも、カテゴリー設定画面が表示されます。
- カテゴリーリストに表示されている項目には、がついています。

- 2 ▲・▼・◀・▶でカテゴリーを選び、**決定** を押す

- **決定** を押すたびに、 (表示する) と (表示しない) が交互に切り換わります。
- 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。
- 「+」が表示されているカテゴリーを選んで **決定** を押すと、カテゴリー編集画面が表示されます。[「カテゴリーを追加・編集する」](#)の操作をして、お好みのカテゴリーを追加することができます。

- 3 変更が終了したら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

カテゴリーを追加・編集する

- 好みのカテゴリーを追加したり、選んだカテゴリーを編集したりできます。

- 1 カテゴリーを追加するとき：
カテゴリー設定画面で、「+」が表示されているカテゴリーを選び、**決定**を押す

- カテゴリー編集画面が表示されます。

カテゴリーを編集するとき：
カテゴリー設定画面で、編集するカテゴリーを選び、**青**を押す

- 「いつもの番組」、「ほかにもこんな番組」、「放送中(地デジ／BS／CS)」以外のカテゴリーを選びます。
- カテゴリー編集画面が表示されます。

- 2 カテゴリー編集画面で、以降の操作をする

カテゴリー編集

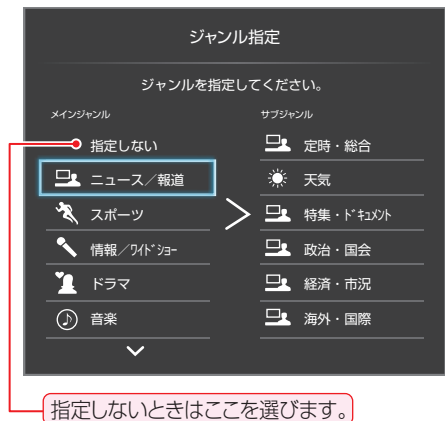
お好みのカテゴリーを設定してください。

ジャンル	指定なし
キーワード	指定なし
除外キーワード	指定なし
番組記号	指定なし
チャンネル	すべて

設定完了

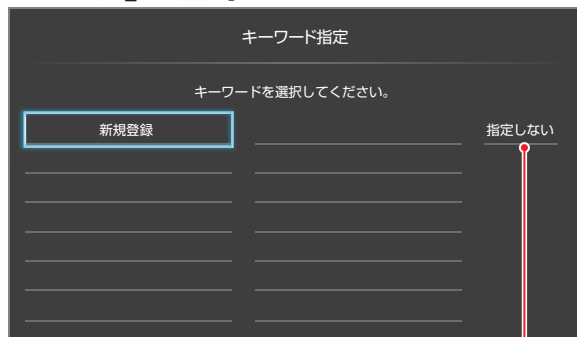
「ジャンル」を指定するとき

- ① ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
 - ② 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す
- サブジャンルを指定する場合、検索できないことがあります。



「キーワード」を指定するとき

- 指定したキーワードを含んだ番組を表示させます。
- ① ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す
- キーワード指定画面が表示されます。
 - お買い上げ時は登録されていません。以下の操作で「キーワード」を登録します。



指定しないときはここを選びます。

■ 新しいキーワードを登録する場合

① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、**決定**を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、**決定**を押す

● 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**青**を押す

② キーワードを編集し、**決定**を押す

● 編集したキーワードが、キーワード指定画面に表示されます。

■ キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**赤**を押す

② ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

「除外キーワード」を指定するとき

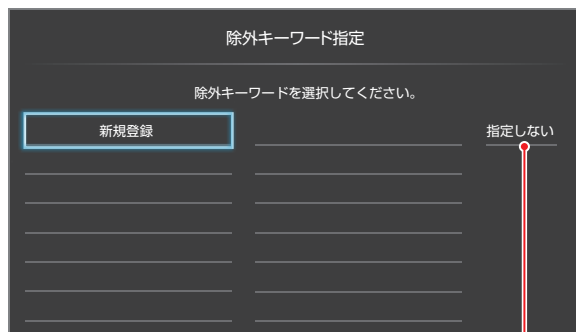
● 指定したキーワードを含んだ番組を、表示させないようにします。

① ▲・▼で「除外キーワード」を選び、**決定**を押す

② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

● お買い上げ時は登録されていません。

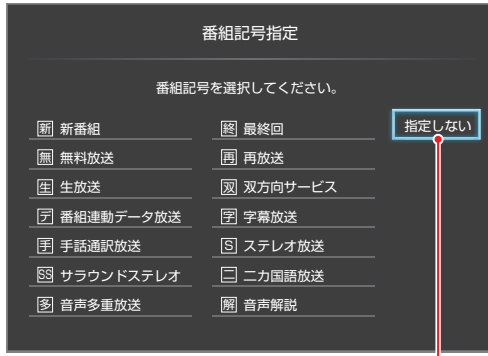
● キーワードの登録方法は、[「キーワード」を指定するとき](#)をご覧ください。



指定しないときはここを選びます。

「番組記号」を指定するとき

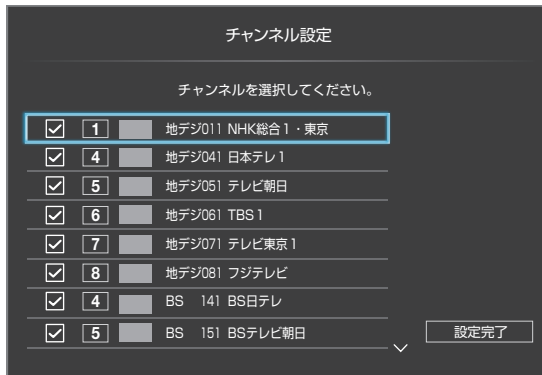
- 1 ▲・▼で「番組記号」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す



指定しないときはここを選びます。

「チャンネル」を指定するとき

- タイムシフトリンク機器で設定されているチャンネルから指定します。
- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
 - 2 指定するチャンネルを▲・▼を選び、**決定**を押す
- **決定**を押すたびに、 (指定する)と (指定しない)が交互に切り換わります。



- 3 指定が終わったら▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

3 ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

カテゴリーを削除する

1 カテゴリー設定画面で、削除するカテゴリーを選び、を押す

- ※ 削除できないカテゴリーの場合は、「このカテゴリーは削除できません。」が表示されます。
- ※ カテゴリーが一つしかない場合は、「これ以上カテゴリーを削除できません。」が表示されます。

2 確認画面で、を押して「はい」を選び、を押す

カテゴリーをお買い上げ時の状態に戻すには

- [「設定の初期化」](#)をすると、カテゴリー設定画面の内容が、お買い上げ時の状態に戻ります。

ざんまいスマートアクセスを便利に使う

- ざんまいスマートアクセスのサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- ざんまいスマートアクセスのサブメニューは、一定の時間操作をしないと、ざんまいスマートアクセスの画面を表示する前に戻ります。

番組説明を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

1 番組説明を見たい番組を選ぶ

- 2  を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで、 を押す

番組を並べ替える

- リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
- ※ 放送中の番組、「ほかにもこんな番組」の並べ替えはできません。

- 1  を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで、 を押す

2 ▲・▼で項目を選び、 を押す

- 新しい順…… 日付の新しい順に表示されます。
- 古い順…… 日付の古い順に表示されます。
- おすすめ順…… 本機がおすすめする順に表示されます。
- おすすめ順は「いつもの番組」のときに選べます。

連ドラ予約をする

- 表示されている「放送中の番組」を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約する番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

ショートカットアイコンを使う

- ショートカットアイコンを選ぶと、ざんまいスマートアクセスで選ばれているカテゴリーの条件で、以下の検索を行います。
- ※ ショートカットアイコンと同じ色のリモコンのカラーボタンを押しても操作できます。
- **みるコレで検索** ……番組やシーン、YouTube™の動画などをまとめて検索した画面にジャンプします。
- **YouTubeから検索** …クラウドサービスのYouTube™の検索結果ページにジャンプします。
- **録画番組から検索** ……録画リストの番組検索画面にジャンプします。
- **これからの番組検索** …通常番組表の番組検索画面にジャンプします。
- ※ 「みるコレで検索」と「YouTubeから検索」は、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、接続を確認する画面が表示されます。
- ※ お買い上げの時期によっては、「YouTubeから検索」のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ 「YouTubeから検索」を利用する場合、「リモート電源オン設定」の「外部機器から電源オン」は自動的に「電源オン」に設定されます。

始めにジャンプを使う

- 視聴中の番組を始めから見ることができます。
- ※ HDMIケーブルも接続していて、**[HDMI連動機能]** を「使用する」に設定しているときに利用できます。

1 **タイムシフトリンク** を押し、◀▶で「始めにジャンプ」を選び、**決定** を押す

- 視聴中の番組の冒頭(録画開始部分)からタイムシフトマシン再生が始まります。

機器操作を使う

- HDMIケーブルで接続していて、**[HDMI連動機能]** を「使用する」に設定しているときに、レグザリンクの操作メニューを表示することができます。
- ※ ネットワーク接続して、タイムシフトリンク機能を利用しているときは使用できません。

1 **タイムシフトリンク** を押し、◀▶で「機器操作」を選び、**決定** を押す

- HDMI連動機器が複数あるときは、機器選択の画面が表示されます。「機器操作」をする機器を選びます。
- レグザリンクの操作メニューが表示されます。

おまかせ録画番組表を使う

- テレビの視聴履歴や選んだテーマをもとに、おすすめの番組を自動的に録画し、一覧できる機能です。
- ※ USBハードディスクの接続(製品同梱取扱説明書 **27**)と**インターネット接続の設定**が必要です。
- ※ おまかせ録画番組表については、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

システムをメンテナンスする

- 本機のシステムメンテナンスを行います。システムメンテナンスをすることで、本機システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

- 設定した時刻に毎日自動的に本機システムメンテナンスが実行されます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「システムメンテナンス」
⇒「システムメンテナンス時間」の順に進む

システムメンテナンス時間 AM 4:00～AM 4:10
システムメンテナンスの実行 >

- 2 ◀▶で「時」、「分」の欄を選び、▲・▼で開始時刻を設定する

- 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。

システムメンテナンス時間
タイムシフトリンク機能の
システムメンテナンス時間を設定します。

▲
AM 4 : 00 ~ AM 4 : 10
▼

- 3 設定が終わったら、**決定** を押し

手動で今すぐ実行する

※システムメンテナンスを実行すると、動作中の録画、ダビングは中止します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「システムメンテナンス」
⇒「システムメンテナンスの実行」の順に進む

2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。
- システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

タイムシフトリンク省エネ設定をする

● タイムシフトリンクを使用しているときの、省エネ設定をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

2 ▲・▼を押し、「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- **オン** … 省エネ設定が働き、電源が「入」のときだけタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。電源を「入」にした直後は、タイムシフトリンク機器からの番組情報が表示されないことがあります。
- **オフ** … 省エネ設定を解除し、電源が「待機」や「切」のときでもタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。

おすすめ履歴を初期化する

- おすすめ履歴をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「おすすめ履歴の初期化」
の順に進む
- 2 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで **決定** を押す
- 3 初期化が終了したら、**決定** を押す

動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバーに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」[19](#)、「ホームネットワークについて」[29](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、[「本機で再生できる動画のフォーマット」](#)をご覧ください。

ご注意

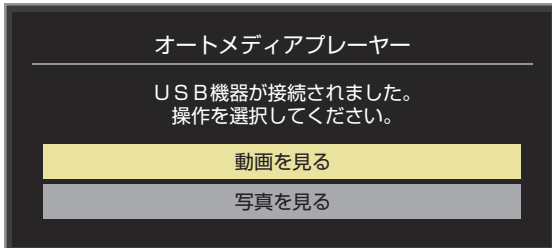
- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

お知らせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順4で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。
- みるコレについては[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「動画を見る」を選んで **決定** を押し、手順**3**から操作します。



1 **みるコレ** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 動画」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「動画」に進むことができます。

2 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

- **青** を押すと、再生機器を検索することができます。
- ※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで **決定** を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 フォルダを▲・▼で選び、**決定** を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。

例



4 動画を▲・▼で選び、決定を押す



- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。

表示モード切換ができるとき











- 操作ガイドに「**緑**表示モード切換」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、「[再生の基本操作とさまざまな再生のしかた](#)」[≫](#)の手順2をご覧ください。

5 動画再生を終了するには、 または を押す

- 放送画面などに戻ります。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」※で変更することができます。

ボタン	内容
	<p>動画の再生を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押しすと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
	<p>再生中に押しと一時停止になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中にもう一度押しと、再生が再開されます。
	<p>動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。</p>
	<p>早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押しと、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
	<p>早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
	<p>再生中に押しと、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
	<p>再生中に押しと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。</p>
	<p>再生中に押しと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。</p>
	<p>次の動画の先頭にスキップして再生します。</p>
	<p>現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。</p>
	<p>再生中に押しと、動画再生のリスト画面が表示されます。</p>

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「再生設定」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 1コンテンツリピート
選択した一つの動画の再生を繰り返します(↺)。
- リピート
フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します(↺)。
- オフ
繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

1 再生中に **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **決定** を押す

- 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。

2 **1** ~ **10** (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 (0) **1** **2** **5** **10** (0) **5** の順に押します。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。

1 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「並べ替え」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で「新しい順」または「古い順」を選び、**決定** を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、**青** を押します。
動画再生リストのときに **サブメニュー** を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで **決定** を押すと、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
 - **赤** 削除
[「一つの録画番組を消す」](#) を参考にしてください。
 - **緑** 表示モード切換
[「表示モード切換ができるとき」](#) をご覧ください。

写真を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」[19](#)、「ホームネットワークについて」[29](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、[「本機で再生できる写真\(静止画ファイル\)のフォーマット」](#)をご覧ください。

ご注意

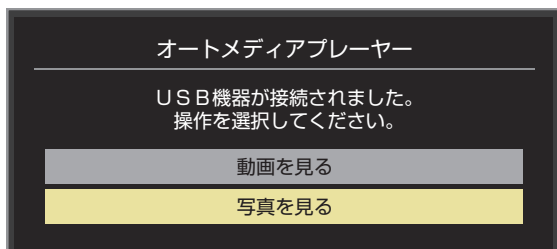
- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

お知らせ

- 写真の表示中は、音声出力(固定/可変)端子から音声信号は出力されません。
- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- みるコレについては[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

写真再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「写真を見る」を選んで **決定** を押し、手順3から操作します。



- 「オートメディアプレーヤー」または、以下の手順1または手順2の操作で写真再生が起動すると、「写真再生」のマルチ表示画面になります(図はUSB機器の例です)。



- 1 **みるコレ** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 写真」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「写真」に進むことができます。

- 2 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。
- ※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器(薄くなって表示されている機器)を選んで **決定** を押し、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する (シングル再生)

- 1 マルチ表示画面から、見たい写真を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 選択した写真が画面に拡大表示されます。



- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀・▶で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- マルチ表示画面に戻るときは戻るを押します。

自動的に順番に表示する (スライドショー再生)

- 1 緑を押す

- 選択中の写真から順番に表示されます。



- スライドショー再生を一時停止するには青を押します。もう一度青を押すと再開されます。
- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀・▶で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- シングル再生に戻るときは緑を押します。
- マルチ表示に戻るときは黄を押します。

写真を回転させるには

- マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。
- ① **赤** を押す
- **赤** を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。
- 回転させた状態は記憶されません。

写真だけを表示するには

- シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。
- ① **画面表示** を押す
- もう一度 **画面表示** を押すと情報が表示されます。

4 写真再生を終了するときは、 を押す

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

- USB機器の場合に、マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます(ネットワークメディアサーバーは「フォルダ別」の表示だけになります)。

1 マルチ表示画面のときに **黄** を押す

- **黄** を押すごとに以下の「シームレス」または「フォルダ別」に切り換わります。
 - **シームレス** 第1階層にある**DCIMフォルダ**や、その中にある第6階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大1000枚まで表示されます(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)。
 - **フォルダ別** 写真および、同じ階層にあるフォルダが合計1000まで表示されます。



フォルダを開くには

- 「フォルダ別」の表示モードのときに、フォルダを開くには以下の操作をします。
 - ① **▲・▼・◀・▶**でフォルダを選び、**決定**を押す
 - 上の階層に戻るときは**戻る**を押します。

再生を繰り返す

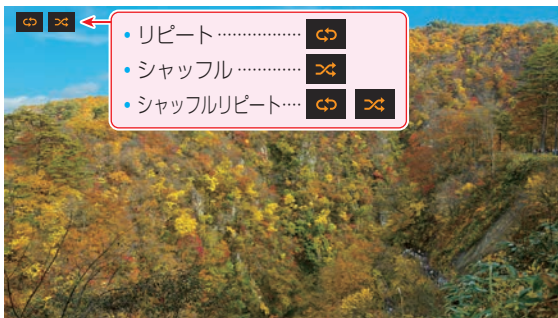
- シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに **サブメニュー** を押す

2 ▲▼で「再生設定」を選び、**決定** を押す

3 ▲▼で以下から選び、**決定** を押す

- リピート……………フォルダ内にあるすべての写真の連続再生を繰り返します。
 - シャッフル……………フォルダ内のすべての写真をランダム順に再生します。
 - シャッフルリピート……ランダム再生を繰り返します。
 - オフ……………繰り返し再生やランダム順再生をしません。
- 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されません。



スライドショーの表示間隔の設定をする

- 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。
- 設定した状態は本機に記憶されます。


1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときに を押す

2 ▲・▼で「間隔設定」を選び、 を押す





マルチ表示画面の写真の並び順を変える

- 表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並べ替えができます。
- 機器によっては、並べ替えができないことがあります。

1 マルチ表示画面のときに を押す

-  を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、次に写真が並びます。

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すには、マルチ表示のときに  を押し、▲・▼で「機器選択」を選んで  を押します。
 - マルチ表示のときに  を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで  を押すと、機器の情報を確認できます。
- ※ 機器によっては、「機器選択」の選択画面に表示されないことがあります。

スカパー！プレミアムサービスLink (録画)の番組を再生する


- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)と配信に対応したサーバーで録画したスカパー！の番組を、ホームネットワーク経由で本機に配信して視聴することができます。ただし、4K放送の番組とラジオ番組は視聴できません。
- 機器の接続・設定については、製品同梱の取扱説明書「ホームネットワークについて」**29**をご覧ください。
- ※ 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときには「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)の録画番組をネットワーク経由で視聴することができません。無線LANのセキュリティ設定を正しく実施してください。

基本操作

1  を押す

2  を押す

3 ▲・▼・◀・▶で機器を選び、 を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。
- ※ 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)と配信に対応したサーバーを選択してください。
- ※ 起動していないWake on LAN対応機器(薄くなって表示されている機器)を選んで を押すと、Wake on LAN画面から起動することができます。
- 選択したサーバーの番組リストが表示されます。

4 見たい番組を▲・▼で選び、を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

5 番組再生を終了するとき、を押す

- 放送画面などに戻ります。

視聴制限について

- 本機の[視聴制限機能](#)を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の番組リストに表示されません。
- 番組の視聴年齢制限が番組冒頭または途中で変化する場合などには、本機の放送・インターネット制限設定によっては再生できないか、または再生が停止することがあります。
- 視聴年齢が制限された番組を表示・再生する場合は、以下の手順に従って適切な視聴制限設定をしてください。

本機の視聴制限設定をするには

① 暗証番号を設定する

- 設定の手順については[「制限するために暗証番号を設定する」](#)をご覧ください。

② 視聴制限を設定する

- 設定の手順については[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- 設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は番組リストに表示されません。
- 視聴制限をしない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。

視聴制限を一時解除するには

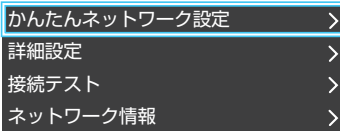
- 1 サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選び 決定 を押す
- 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2 1 ~ 10 (0) で暗証番号を入力する
- 入力した暗証番号が正しい場合は視聴制限が解除され、すべての番組が番組リストに表示されます。
- 本機の電源を「待機」または「切」にした場合や、録画リストを終了した場合、番組再生を中止・終了して放送画面に切り換えたり、他の番組再生にしたりする場合などに、視聴制限の一時解除は無効になります。

インターネットに接続するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



3 以降の手順で設定する

かんたんネットワーク設定

- はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

- 有線LANの接続については、製品同梱の取扱説明書の「接続のしかた(有線LANの場合)」をご覧ください。

- 1 ◀▶で「有線LAN」を選んで、決定を押す



- 2 接続テストをする場合は◀▶で「はい」を選んで、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、[「接続テスト」](#) ▶▶をご覧ください。

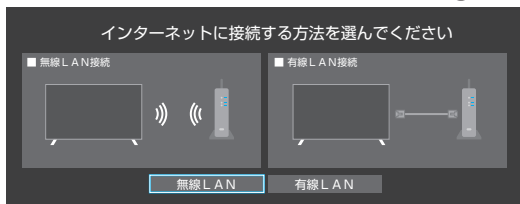
- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。

- 3 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す

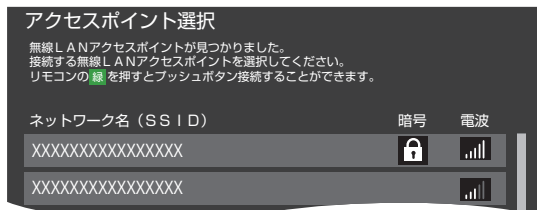
- 有線LANの設定は終了です。

無線LANの設定をする

- 1 ◀▶で「無線LAN」を選んで、決定を押す



- アクセスポイント選択画面が表示されます。



- 設定方法には、
[「アクセスポイント選択」](#)、
[「プッシュボタン接続」](#)、
[「PINコード接続」](#)

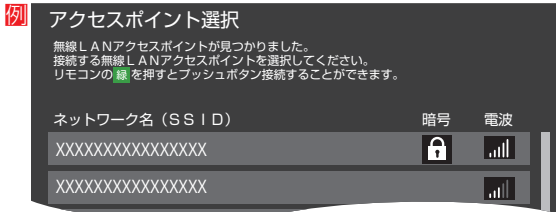
があります。接続する無線LANアクセスポイントに合わせて、設定方法を選びます。

- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

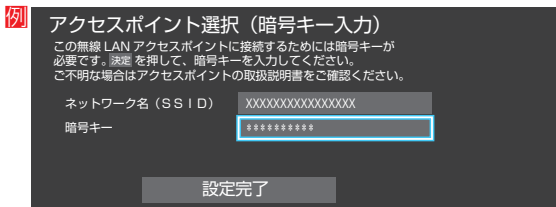
アクセスポイント選択

- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出し、接続します。

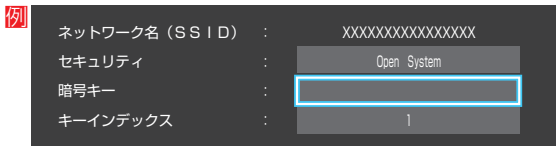
- ① 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、**決定**を押す



- ② ①で選択した無線LANアクセスポイントの暗号キーを入力する



- 選択先によっては下記の表示になることがあります。

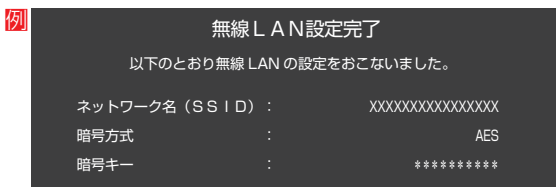


- 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

- ③ ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押され使用可能になった無線LANアクセスポイントを本機が検出し、接続します。

① **緑** を押す

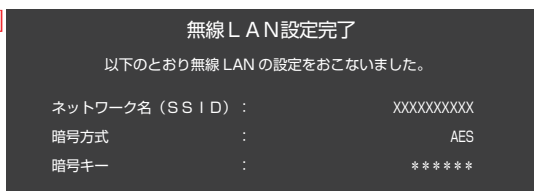
② 無線LANアクセスポイントの接続ボタンを押す

● 本機がアクセスポイントを検出し、接続します。

● 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

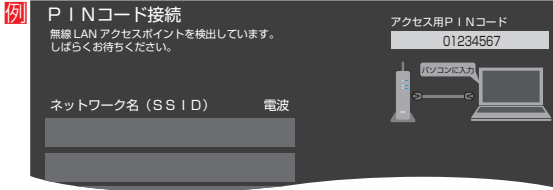
③ 設定内容を確認し、**決定** を押す

例

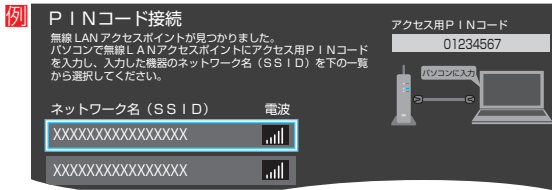


PINコード接続

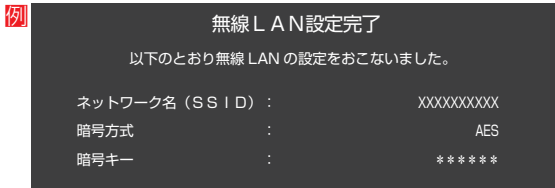
- ① **黄**を押す
- ② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントにパソコンで設定する



- PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- ③ 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、**決定**を押す

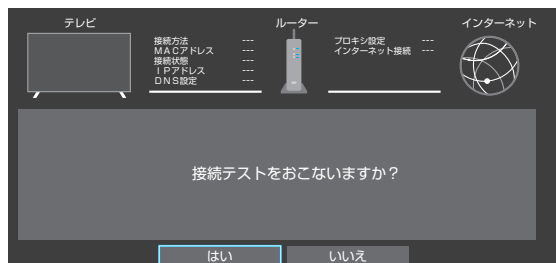


- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



② 接続テストをする場合は◀▶で「はい」を選び、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「[接続テスト](#)」をご覧ください。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。
- ③ 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す
- 無線LANの設定は終了です。

お知らせ

- 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
- 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断されたり、「外部機器から電源オン」が機能しない場合があります。
- すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンでを使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

接続方法

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む
- 2 ▲・▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選んで、**決定** を押す

接続方法	無線LAN	有線LAN
無線LAN設定	>	無線LAN
アドレス設定 (IPv4)	>	
IPv6接続	利用する	
アドレス設定 (IPv6)	>	

- 「有線LAN」から「無線LAN」に変更した場合、切換に数秒間かかります。

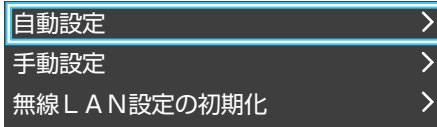
無線LAN設定

- 無線LANを使用する場合に、設定してください。
- **設定** を押し、▲・▼で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」に進め、「接続方法」が「無線LAN」になっていることを確認してください。

「有線LAN」になっている場合

- 以下の操作で「無線LAN」に設定します。
 - 1 ▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「無線LAN」を選び、**決定** を押す
 - 「詳細設定」の画面に戻り、「接続方法」が「無線LAN」になります。
- 1 **設定** を押し、▲・▼で「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「無線LAN設定」の順に進む

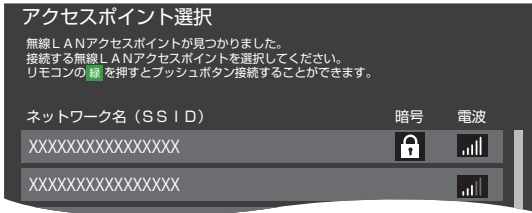
2 設定する項目を▲▼で選んで を押す



3 以降の手順で設定する

自動設定

- アクセスポイント選択画面が表示されます。



- 各接続方法と設定については、
[「アクセスポイント選択」](#)、
[「プッシュボタン接続」](#)、
[「PINコード接続」](#)

をご覧ください。

- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

手動設定

- 接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 各項目を、以降の手順で設定する

- ▲▼で「ネットワーク名(SSID)」を選び、**決定**を押します。
接続したいアクセスポイントのSSID(ネットワーク名)を入力してください。
- ▲▼で「暗号方式」を選び、**決定**を押します。
▲▼で「AES」、「AES/TKIP」、「WEP-Open」、「WEP-Shared」または「暗号なし」から選び、**決定**を押します。

「暗号なし」に設定すると、無線LAN経由で本機から送信する情報のセキュリティが無防備になるため、悪意ある第三者に情報を盗み見られるおそれがあります。

暗号方式は「AES」などに設定することをおすすめします。

- ▲▼で「暗号キー」を選び、**決定**を押します。
接続したいアクセスポイントが指定する、「暗号キー」を入力します。
 - 「WEP-Open」、「WEP-Shared」を選んだ場合は、▲▼で「キーインデックス」を選び、**決定**を押します。
▲▼で「キーインデックス1～4」から選び、**決定**を押します。
- 2 ▲▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す
- 3 設定内容を確認し、**決定**を押す

無線LAN設定の初期化

1 ◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

無線LAN設定の初期化

無線LAN設定をお買い上げ時の状態に戻しますか？

※お買い上げ時の状態に戻すと
接続中の無線LANを切断し、
接続タイプを有線LANに変更します。

はい

いいえ

アドレス設定(IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、**決定**を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス

自動取得

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス

自動取得

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー

使用しない

サーバー名


ポート番号

設定完了







自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、**決定**を押す
 - ② ▲▼で「アドレス」を選び、～⁰で入力する
 - ③ ▲▼で「サブネットマスク」を選び、～⁰で入力する
 - ④ ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、～⁰で入力する
- ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す




DNSアドレス

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。
- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、を押す


自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、を押す
 - ② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、1～10⁽⁰⁾で入力する
 - ③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、1～10⁽⁰⁾で入力する
- ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀・▶を押します。
- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

プロキシサーバー

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
 - ① ▲・▼で「使用する」を選び、を押す
 - ② ▲・▼で「サーバー名」を選び、を押す
 - ③ サーバー名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。
 - ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の！"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^_`?~/です。
 - ④ ▲・▼で「ポート番号」を選び、 ～ (0) でポート番号を入力する
 - ⑤ ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

IPv6接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。
- ※ NetflixはIPv6にも対応しています。
- ※ ルーターのIPv6パススルー (IPv6ブリッジ)を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定を行い、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。
- ① ▲・▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、を押す

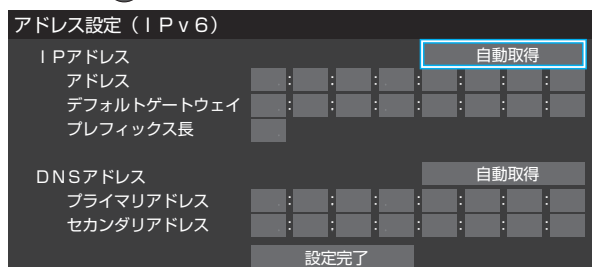
アドレス設定(IPv6)

- IPv6で接続するとき、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得したあと、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- 1 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、**決定**を押す



自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 ▲▼で「手動設定」を選び、**決定**を押す
 - 2 ▲▼で「アドレス」を選び、**1** ~ **10** (0)、**11** (a ~ c)、**12** (d ~ f) で入力する
 - 3 ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、**1** ~ **10** (0)、**11** (a ~ c)、**12** (d ~ f) で入力する
 - 4 ▲▼で「プレフィックス長」を選び、**1** ~ **10** (0) で入力する
- ②、③では0~9、a~fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ④では1~127の範囲の数字を入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- 2 ▲▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

DNSアドレス

※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、**決定**を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲・▼で「手動設定」を選び、**決定**を押す

② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、**1** ~ **10** (0)、**11** (a ~ c)、**12** (d ~ f) で入力する

③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、**1** ~ **10** (0)、**11** (a ~ c)、**12** (d ~ f) で入力する

- ②と③では0~9、a~fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀▶を押します。

② ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

ネットワーク情報

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、**決定** を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲・▼で「接続テスト」を選び、**決定** を押す

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで **決定** を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで **決定** を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

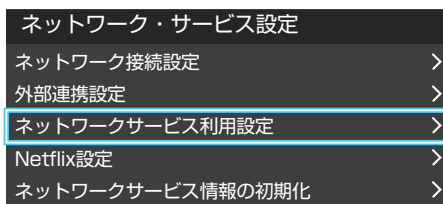
- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。
 - ② ネットワーク環境の接続確認
 - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorer など)を起動する
 - ② URL欄に「www.toshiba.co.jp/regza/」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。
- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合
 - 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
 - ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。
上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。
 - ※ IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「IPv6接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークサービスを利用するための設定をする

- インターネットに接続して、クラウドサービスなどのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。

※「クラウドサービス」の使用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワークサービス利用設定」の順に進む



2 内容を最後まで読む

- 3 ◀▶ で「利用する」または「利用しない」を選び、**決定** を押す



- 「TimeOn利用規約を表示」を選んで **決定** を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。

もう一度 **決定** を押すか、**戻る** を押すと元の画面に戻ります。

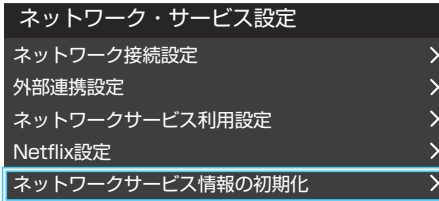
- 4 ◀▶ で「設定完了」を選び、**決定** を押す

ネットワークサービスの情報を初期化する

- クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報*などを削除します。

※Netflixなど、一部初期化されない動画配信サービスがあります。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワークサービス情報の初期化」の順に進む



- 2 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

- ネットワークサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

お知らせ

■ ネットワークサービス利用設定について

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切替、入力切替、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力には不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。当社は、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、一切の責任を負いません。

- ネットワークサービス利用設定を「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。また、お客様が個別に作成した本サービスのユーザーアカウント情報は、ユーザーアカウントを削除したときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス情報(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は[「アドレス設定\(IPv4\)」](#)ををご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス情報(IPv4)のDNSアドレスについて

- DNSアドレスを指定して設定するには、「IP設定」で「静的」を]選択して、DNSアドレスを含め、ネットワークの設定項目の全てについて画面の指示に従って設定してください。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■ アドレス(IPv4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(IPv6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例: 1111:ABC D:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。

この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。タレントや好みのテーマに関する番組・シーン・動画などを自動で検索する「みるコレ」サービスや、お好みの動画配信サービスなどを楽しめる他社サービスへのリンクも提供します。
- ※ サービスの概要などについては、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- インターネットを利用するための接続をする。
製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」**[20]**をご覧ください。
- [インターネットを利用するための設定](#)をする。
- [ネットワークサービス利用設定](#)を「利用する」に設定する。
- [インターネットの利用制限](#)を設定する。

クラウドサービスの基本操作

1 を押す

- クラウドサービスの画面が表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶でお好みのサービスを選んで を押す


暗証番号の入力画面が表示された場合

① ~ (0) を押して暗証番号を入力する

- 暗証番号の入力画面は、「[ネットワークサービス制限設定](#)」を「制限する」に設定している場合に表示されます。

3 見たい項目を ▲・▼・◀・▶ で選び、 を押す

4 サービスを終了するには、 を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀▶で「はい」を選んで、  を押します。

クラウドサービスの設定をする

- クラウドサービスやおまかせ録画を使う前に、以下の設定が必要です。

1 みるコレを押す



- クラウドサービスの画面が表示されます。
- **おまかせ録画** を押したときや **タイムシフトリンク** を押して「おまかせ録画番組表」を選択したときは、サービス紹介画面が表示されます。



2 「利用する(無料)」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 表示される画面にあわせて設定してください。

お知らせ

- 画面や文言については変更される場合があります。
- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切の責任を負いません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
- **みるコレ**を押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、を2秒以上押してから、**みるコレ**を押します。
を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読み込みが行われ、**みるコレ**を押すと再読み込み後の画面が表示されます。

「Netflix」について

- Netflixは世界最大級のオンラインストリーミングサービスです。お好きなテレビ番組や映画をすぐにテレビでお楽しみいただけます。CMなし、月額定額制、簡単登録、そしていつでもキャンセル可能です。
- ※ お買い上げの時期によっては、Netflixのご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。

「Netflix」の利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 本機のソフトウェアが最新バージョンであることを確認します。
 - ・ ソフトウェアのバージョンが、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)の「ソフトウェアダウンロード情報」でお知らせしている最新のソフトウェアのバージョン番号と一致していることを確認してください。
- 「Netflix」のアカウントを取得します。
 - ・ アカウントの取得方法は、「Netflix」のホームページ(<https://www.netflix.com/jp/>)を参照してください。

「Netflix」による操作

- おもな操作は「Netflix」の画面に従います。
- テレビの電源が「入」のときに **NETFLIX** を押すと、「Netflix」のサービスが起動します。
 - ※ **みるこし** を押して表示されるクラウドサービスのメニューから選択して起動することもできます。
- テレビの電源が「待機」のときに **NETFLIX** を押すと、直接「Netflix」のサービスが起動します。テレビのチャンネルは表示されません。
- 「すべての初期化」を実行すると、「Netflix」のログイン設定も削除されます。

お好みの映像に調整する

- 「Netflix」の視聴中は、通常の映像メニューの他に「シアター」と「リビング」が選択できます。
 - **リビング**：ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。
 - **シアター**：ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。

「Netflix」サービス起動中の制限

- 無操作自動電源オフ機能が無効になります。
- 一部のリモコン操作について、リモコンコード1とリモコンコード2の両方のリモコン操作に反応します。
- 画面サイズの切換はできません。

「Netflix」サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、「Netflix」を終了して予約を実行するか問い合わせるメッセージが表示されます。画面の説明に従って、予約を実行するか、予約をキャンセルして「Netflix」を続けるか選ぶことができます。

「Netflix」サービスが起動できない場合

- 視聴予約の時刻が近いときは「Netflix」サービスを起動することができません。

「Netflix」に関するその他の操作

- 「Netflix」に関するその他の操作を設定メニューから行うことができます。これらの操作はインターネットに接続していないときでも、操作することができます。

ESN表示

- 「ESN」は、「Netflix」サービスのために発行される機器固有のIDです。保守サービスのために必要になります。
 - 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「Netflix設定」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「ESN表示」を選び、**決定** を押す
 - ESN情報が表示されます。

ログイン設定の初期化

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「Netflix設定」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「ログイン設定の初期化」を選び、**決定** を押す
 - 3 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- ログイン設定が初期化されます。

動画配信サービスを楽しむ

- 「AbemaTV」、「Hulu」、「U-NEXT」、「YouTube」、「Amazon Prime Video」などの動画配信サービスを楽しむことができます。
- ※ お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。

動画配信サービスの利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。
 - ・ 対応している動画配信サービスについては、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。
 - ・ アカウントの取得方法は、各社のホームページを参照してください。

動画配信サービスを見る

ABEMA、hulu、U-NEXT、YouTube、prime video を押す

- 動画配信サービスの画面に切り替わります。
 - ※ **みるこし** を押して表示されるクラウドサービスのメニューから選択して選択して切り替えることもできます。
- おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。
- 「ネットワークサービス情報の初期化」や「すべての初期化」を実行すると、ログイン設定も削除されます。

サービス起動中の制限

- 画面サイズの切替はできません。
- 「YouTube」、「Prime Video」は、サービス起動中に以下の制限があります。
 - ※ 無操作自動電源オフ機能が無効になります。
 - ※ 一部のリモコン操作について、リモコンコード1とリモコンコード2の両方のリモコン操作に反応します。

サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、動画配信サービスを終了して予約したチャンネルが選局されます。

スマートスピーカーで本機を操作する

- 対応するスマートスピーカーと連携すれば、スマートスピーカーに話しかけることで本機を操作することができます。
- ※対応のスマートスピーカーについては、スマートスピーカー連携機能のホームページ
(<https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/>)をご覧ください。

ご注意

- 本機能を使用するためには、本機をインターネットへ接続し、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。

スマートスピーカーと連携する

- セットアップ済の対応スマートスピーカーと、そのスマートスピーカーの設定アプリをインストールしたスマートフォンを用意します。

1 スマートフォンのスマートスピーカーの設定アプリで、レグザのアプリまたはスキルを検索し、連携コード入力画面を表示する。

- 連携コード入力画面の表示方法は、スマートスピーカーの設定アプリによって異なります。詳しくは各スマートスピーカーの説明書およびスマートスピーカー連携機能のホームページ(<https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/>)をご覧ください。

2 **みるコレ** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** でみるコレの項目から「クラウド設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」⇨「スマートスピーカー連携」の順に進む

- 8ケタの連携コードが表示されます。

3 スマートフォンの連携コード入力画面に、8桁の連携コードを入力する

- ※ 連携コードの有効期限は10分間です。10分を超えてコードが無効になってしまった場合は、手順 2 の画面でリロードを選んで連携コードを再発行してください。

連携を解除するには

- 以下のいずれかの方法で、スマートスピーカーとの連携を解除できます。
- 「クラウド設定」⇒「スマートスピーカー連携設定」⇒「スマートスピーカー連携の解除」を選ぶ
- スマートフォンの設定アプリから、レグザのリンク解除をする

スマートスピーカーで操作する

スマートスピーカーに呼びかけたあと、続けて以下の発話例のように話しかけて操作する

- 呼びかけ方や発話例はスマートスピーカーによって異なります。
- スマートスピーカーにより、他にも利用できる機能があります。詳しくはスマートスピーカー連携機能のホームページ (<https://m.timeon.jp/special/smartspeaker/>) をご覧ください。

主な機能と発話例

機能	発話例	TV動作
電源オン [*] /オフ	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビつけて ・テレビけして 	電源のオン/オフをする。
チャンネル切換	<ul style="list-style-type: none"> ・8チャンネルに変えて ・次のチャンネルにして 	チャンネルを切り換える。
入力切換	<ul style="list-style-type: none"> ・入力切換して 	入力切換をする。
消音オン/オフ	<ul style="list-style-type: none"> ・音けして ・ミュート解除 	消音のオン/オフをする。
音声切換	<ul style="list-style-type: none"> ・音声切換 	音声切換をする。
始めにジャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・先頭からみせて 	始めにジャンプをする。
音量アップ/ ダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・音量あげて ・ボリュームダウン ・音量を10あげて 	音量のアップ/ダウンをする。 アップ/ダウンする量を指定された場合は指定された分だけ音量変更する(上限値あり)。

※ 本機の電源のオンの操作をするには、あらかじめ「クラウド設定」⇒「スマートスピーカー連携設定」⇒「電源待機中の操作」を「受け付ける」にする必要があります。

なお、この設定を行うと、本機の待機電力が増加します。また、「無操作自動電源オフ」設定が「待機にする」に設定されます。

お好みの映像メニューを選ぶ

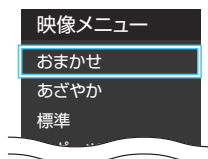
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子・写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む



2 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、決定 を押し

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。



映像メニュー	内 容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)。
スポーツ	スポーツ番組などを見るときに適した設定です。
アニメ	アニメ番組などを見るときに適した設定です。
映画	映画を見るときに適した設定です(暖か味のある色合いが再現されます)。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です(HDMI入力、ビデオ入力の際に選択できます)。
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です(HDMI入力の際に選択できます)。
写真	写真(JPEG画像)を表示するのに適した設定です(写真再生の際に選択できます)。
リビング	ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。(Netflixの際に選択できます)
シアター	ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。(Netflixの際に選択できます)

お好みの映像に調整する

- 1 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む

映像設定 (放送 / 再生用)	
映像メニュー	おまかせ
画面の明るさ	0
お好み調整	>
明るさ検出	オン
室内環境設定	>

- 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」に進みます。

映像設定 (放送 / 再生用)	
映像メニュー	標準
画面の明るさ	0
映像調整	>
明るさ検出	オン

- 2 調整する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
精細感・ノイズ調整	>
コントラスト感調整	>
色詳細調整	>
お好み調整を初期値に戻す	>

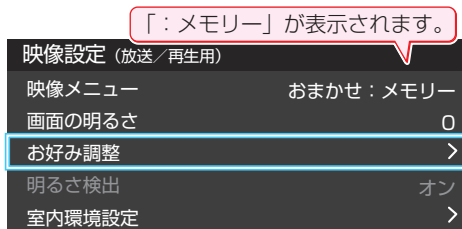
- ※ 映像メニューが「おまかせ」以外のときは、「お好み調整を初期値に戻す」は「映像調整を初期値に戻す」になります。

- 3 以降の手順でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します（「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲・▼を押せば調整項目を切り換えることができます）。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「おまかせ：メモリー」と(HDMI1)の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
 - ① ◀▶でお好みの明るさに調整し、**決定**を押す
- 「-50」(暗)～「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。
 - ① ◀▶でお好みの濃さに調整し、**決定**を押す
- 「-50」(淡)～「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。
 - ① ◀▶でお好みの色あいに調整し、**決定**を押す
- 「-50」(紫)～「+50」(緑)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して **決定** を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

シャープネス	0
レゾリューションプラス設定	>
カラーテクスチャー設定	>
MPEG NR	オート
ダイナミックNR	オート
ファインシネマ	オン


② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、**決定**を押す
- 「-50」～「+50」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して  を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。
- ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。無効(オフ)に設定した場合は、「ゲイン調整」は調整できません。
- ※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① ▲・▼で「レゾリューションプラス」を選び、 を押す

② ▲・▼で以下から選び、 を押す

- オン……………映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
- オフ……………この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

① ▲・▼で「ゲイン調整」を選び、 を押す

② ◀▶で調整し、 を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ	-5 ~ +5	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせ以外	0 ~ 10	

カラーテクスチャー設定

- 色鮮やかな花や果物など、色の濃い映像部分の精彩感や質感を復元する機能です。

カラーテクスチャー

- ① ▲・▼で「カラーテクスチャー」を選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オン……………この機能が常に働きます。
 - オフ……………この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

- ① ▲・▼で「ゲイン調整」を選び、**決定**を押す
- ② ◀▶で調整し、**決定**を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ	-5 ~ +5	数値が大きくなるほど、効果が大きくなります。
おまかせ以外	0 ~ 10	

MPEG (エムペグ) NR

- デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

※「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」、「写真」以外のときに設定できます。

- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オート……………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
 - 手動……………手動で調整します。

手動で調整するとき

- (1) ◀▶で調整し、**決定**を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ダイナミックNR

- 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。
- ※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」、「写真」以外のときに設定できます。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- オート……………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動……………手動で調整します。

手動で調整するとき

① ◀▶で調整し、を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。
- ※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。


ファインシネマ

- 映画ソフト(フィルム映像)のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
- ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
- ※ 映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- オン……………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- オフ……………手動で調整します。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して  を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、 を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

ユニカラー	0
ヒストグラムバックライト制御	オン
ガンマ調整	0
質感リアライザー	オート

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、**決定**を押す
- 「-50」～「+50」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

ヒストグラムバックライト制御

- 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オン
ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
 - オフ
この機能は働きません。

ガンマ調整

- 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。
- ① ◀▶で調整し、**決定**を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
-10～+10	

質感リアライザー

- 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

「映像メニュー」が「おまかせ」のとき

① ◀▶で調整し、決定を押す

- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほどメリハリが強調されます)。

- 青を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。

詳細質感リアライザー

(1) ▲▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

(2) ◀▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	-5 ~ +5	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせ」以外のとき

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- オート……………映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- 手動……………手動で調整します。
- オフ……………この機能は働きません

「手動」にしたとき

(1) ▲▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

(2) ◀▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0 ~ 10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

色詳細調整

- 「色詳細調整」を選択して **決定** を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。
- ① 調整する項目を **▲・▼** で選び、 **決定** を押す
- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

色温度 0

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせ」のとき

① ◀▶ で調整し、 **決定** を押す

- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
- **青** を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。
▲・▼ で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、**◀▶** で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

「映像メニュー」が「おまかせ」以外のとき

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オート……………映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- 手動……………手動で調整します。

「手動」にしたとき

① ▲・▼で調整し、**決定**を押す

● 「0」～「10」の範囲で調整できます。

調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

● **青**を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲・▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀▶で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「コンテンツモード」、「バックライト」、「画面の明るさ」、「低遅延モード」、「明るさ検出」、「室内環境設定」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

※ 「低遅延モード」は、外部入力(HDMI)のときに表示されます。



コンテンツモード

- HDMI入力からの映像のときに表示され、設定できます。映像メニューの下に表示されます。
- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なります。

「映像メニュー」が「ゲーム」、「PC」以外のとき

- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なり、選択できない項目は薄く表示されます。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート
本機が自動的に切り換えます。
- BD
通常のブルーレイディスクの再生に適したモードです。
- 2K放送
2K放送の映像に適したモードです。

「映像メニュー」が「ゲーム」のとき

- 「映像メニュー」が「ゲーム」のときは、以下のモードから選びます。
 - ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オート
本機が自動的に切り換えます。
 - HDゲーム
高解像度映像のゲーム機に適したモードです。
 - ポータブルゲーム
ポータブルタイプのゲーム機に適したモードです。
 - SDゲーム
低解像度映像のゲーム機に適したモードです。

「映像メニュー」が「PC」のとき

- 「映像メニュー」が「PC」のときは、コンテンツモードは「オート」になります。
 - オート
本機が自動的に切り換えます。

バックライト

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
 - ① ◀▶でお好みの明るさに調整し、**決定**を押す
- 「0」～「100」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

画面の明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」を設定していないときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
- ① ◀▶でお好みの明るさに調整し、**決定**を押す
- 「-15」～「+15」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。
- **青**を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

お知らせ


■ 「画面の明るさ」と明るさセンサーについて

- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」をご覧ください。



明るさ詳細設定

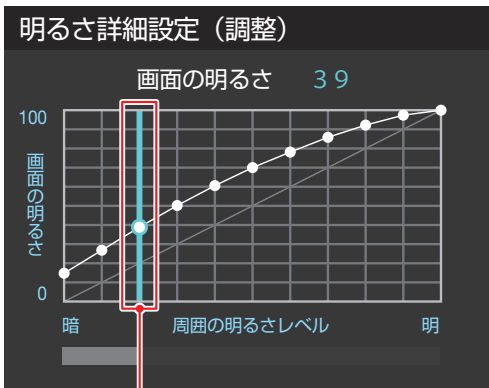
- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

1 を押す

- を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。

2 明るさを変えたいレベルを◀▶で選び、▲▼で明るさを調整する


- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
- を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。




明るさセンサーで感知した明るさレベル部分が選ばれます。

3 調整が終わったら、を押す






低遅延モード

- 画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- ※ 「低遅延モード」は、外部入力(HDMI)のときに設定できます。
- ① ▲・▼で以下から選び、を押す
 - オン…… 低遅延モードが働きます。
 - オフ…… この機能は働きません。

明るさ検出

- 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
- ※ 「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。
- ① ▲・▼で以下から選び、を押す
 - オン…… 明るさ検出機能が働きます。
 - オフ…… この機能は働きません。

室内環境設定

- 映像メニューが「おまかせ」のときに設定できます。
- ※ 「Dolby VisionIQ」の場合、映像信号情報には「Dolby Vision」と表示されます。
- ① ▲・▼で「室内環境設定」を選び、を押す
- ② ▲・▼で「照明の色」を選び、を押す
- ③ ▲・▼で室内の照明の色を選び、を押す
 - 電球色
電球など、暖か味のある色の照明の場合に選択します。
 - 蛍光灯色
クールな白色の照明の場合に選択します。
- ④ ▲・▼で「外光設定」を選び、を押す
- ⑤ ▲・▼で「外光あり」または「外光なし」を選び、を押す
 - 外光あり
日中、屋外から光がはいる場合に選択します。
 - 外光なし
日中、屋外からはいる光が少なく、室内照明を使用している場合に選択します。
- 「外光あり」に設定した場合、③で設定した照明の色と外光に合わせた画質に自動調整されます。(この機能にはデジタル放送の時刻情報が利用されます)
- 「外光なし」に設定した場合、③で設定した照明の色に合わせた画質に自動調整されます。

お好み調整を初期値に戻す / 映像調整を初期値に戻す

- 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「映像設定」⇒「お好み調整」⇒「お好み調整を初期値に戻す」の順に進む

- 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」⇒「映像調整を初期値に戻す」に進みます。

2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す**テレビの電源ランプを消灯する**

- テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。
- ※ テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」(お買い上げ時の設定)でを使用することをおすすめします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「電源LED表示設定」に進む**2** ▲・▼を押して「消灯」を選び、**決定** を押す

- 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の音声、各外部入力端子の音声、音楽再生の音声でそれぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「音声メニュー」は「—」と表示され、操作できません。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む

音声設定 (放送/再生用)	
音声メニュー	ダイナミック
サウンドリマスター	オン
低音強調	弱
イコライザー	>
サラウンド	オフ
オートボリューム	オフ
左右バランス	中央
ドルビーDRC	—
音声出力詳細設定	>

2 お好みの音声メニューを◀▶で選ぶ



音声メニュー	内 容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

- 外部入力を選んでいるときは、「おまかせ」を選択できません。
- ▲・▼で、サウンドリマスター画面や低音強調画面、イコライザー画面に移行できます。

お好みの音声に調整する

- 1 **設定** を押し、▲・▼で「音声設定」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で調整したい項目を選んで **決定** を押す
- 3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整・設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック：メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

サウンドリマスター

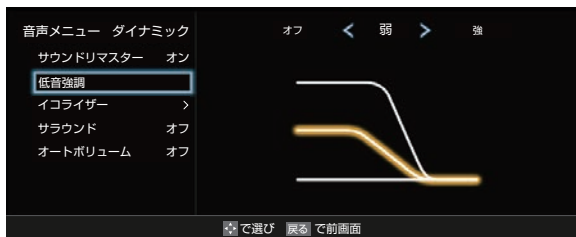
- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ー」と表示され、操作できません。
- 1 ◀▶でお好みの設定を選ぶ



- **オート** …… 音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- **オン** …… 高精細な音質になります。
- **オフ** …… この機能は働きません。

低音強調

- 低音の強さを調整します。



1 ◀▶でお好みの設定を選ぶ

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- おまかせ……番組のジャンルに合わせて低音を自動調整します。
- オフ……この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- 強／弱……低音をお好みの強さに調整します。
- オフ……この機能は働きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカ」、「音声出力」以外のときは、「イコライザー」は「ー」と表示され、操作できません。

1 調整する音域を◀▶で選び、▲▼でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、青 を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、赤 を押します。

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サラウンド」は「—」と表示され、操作できません。
 - クリア音声選択時は、「サラウンド」は「—」と表示され操作できません。
- ※ 音声多重放送の視聴時に、**「主」または「副」を選んでいる場合**は、効果が得られません。

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

① ▲・▼でお好みの設定を選び、を押す

- おまかせ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- オフ …… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

① ▲・▼でお好みの設定を選び、を押す

- ライブ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- シネマ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- オフ …… この機能は働きません。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「オートボリューム」は「—」と表示され、操作できません。
- ① ◀▶で以下から選び、**決定**を押す
- オン…… オートボリュームの機能が働きます。
 - オフ…… この機能は働きません。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「左右バランス」は「—」と表示され、操作できません。
- ① ◀▶でお好みのバランスに調整し、**決定**を押す

ドルビー DRC

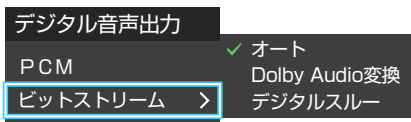
- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
 - HDMI入力端子やホームネットワークに接続した機器から、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します(機器からドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
- 強… 音声レベルの補正効果が強く働きます。
 - 弱… 音声レベルの補正効果が弱く働きます。

音声出力詳細設定

- スピーカーや音声出力端子から出力する音声の詳細を設定できます。
- ① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す
- ② 以降の手順で調整する
- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。
- ① ▲・▼で信号を選び、**決定**を押す



- **PCM**
常にリニアPCM信号が出力されます。
オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。
- **オート**
最適なフォーマットで出力します。
- **Dolby Audio変換**
Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー**
AACやDolby信号がそのまま出力されます。

ご注意

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、「デジタル音声出力」を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力1(ARC)端子からは設定にかかわらずニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から信号は出力されません((HDMI入力端子が対応している音声信号については、製品同梱の取扱説明書の「本機の入出力対応信号」をご覧ください)。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1 (ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。
- ① ◀▶でお好みのタイミングに調整し、**決定**を押す
- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」を選択している場合は、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。
- 設定の「音声設定」⇒「音声出力詳細設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」を[音声出力]に設定し、サブメニューの「スピーカー切替」を「音声出力」に選択した場合は、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。
- ① ▲・▼で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、**決定**を押す
- 以下、「出力設定」、「ヘッドホン出力設定」、「音声出力設定」を設定します。

出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。
- ※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- **ヘッドホン**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
- **音声出力**
ヘッドホン／音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。

ヘッドホン出力設定

- 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。
- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
- **通常モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- **親切モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

音声出力設定

- 「出力設定」で「音声出力」を選んだときに設定します。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

● 固定

ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。

● 可変

ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。

テレビ設置設定

- 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「テレビ設置設定」は「—」と表示され、操作できません。
- ### ① ▲・▼で「スタンド」、「壁掛け」または「コーナー」を選ぶ

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

地上デジタル用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタルアンテナ設定 >

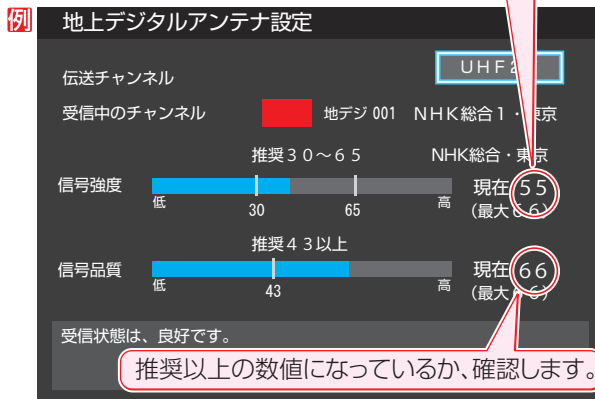
地上デジタルスキャン設定 >

- 2 ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼でチャンネルを選び、決定を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。
- 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。

推奨範囲の数値になっているか、確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 設定 を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

2 BS または CS で放送の種類を選ぶ

3 番組 でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。
- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

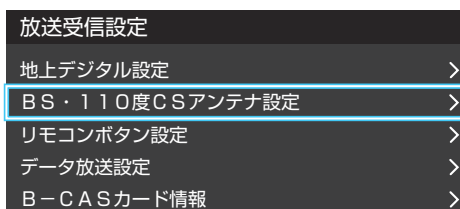
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、を押す

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲・▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で「する」、「しない」または「オート」を選び、**決定** を押す

- **する**：
本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- **しない**：
アンテナに電源を供給しません。
- **オート**：
必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

お知らせ

- 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません(BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。

① アンテナ線がショートしています。
アンテナ線の接続を確認してください。
コード：E209

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - 初期スキャン

「はじめでの設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - 再スキャン

放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - 自動スキャン

本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（**1**～**12**）に放送の運用規定に基づいて設定します。
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む
 - 2 お住まいの地方を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す
 - 3 お住まいの都道府県または地域を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

- 2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(**1** ~ **12**)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、「**初期スキャン**」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を▲・▼で選び、**決定** を押す

3 設定するボタン(**1** ~ **12**)の番号を▲・▼で選び、**決定** を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例 チャンネルボタン設定 地上デジタル




変更したいチャンネルを選んでください。

ボタン	チャンネル
1	011 NHK総合・東京
2	021 NHKEテレ東京
3	031 t v k
4	041 日本テレビ
5	051 テレビ朝日
6	061 TBS
7	071 テレビ東京
8	081 フジテレビジョン
9	091 TOKYO MX
10	031 テレ玉
11	---
12	ワンタッチ選局ボタンの番号

- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
グループのA、B (BSデジタル放送)、A～F (110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。
グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲・▼で受信チャンネルを選び、を押す


110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。
 - ① 手順2で、「110度CS」を選び、を押す
 - ② チャンネルボタン設定画面(手順3)で  を押す
 - ③ ▲・▼で登録したいチャンネルを選び、を押す
- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

視聴しないチャンネルをスキップする

-  で選局するとき、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは**番組表**に表示されません。また、**番組検索**の対象になりません。

1 を押し、▲・▼と で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。



2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、 を押す

例 チャンネルスキップ設定 地上デジタル

チャンネル	スキップ
<input type="checkbox"/> 011 NHK総合1・東京	しない
<input type="checkbox"/> 012 NHK総合2・東京	しない
<input type="checkbox"/> 021 NHKEテレ1東京	しない
<input type="checkbox"/> 022 NHKEテレ2東京	しない
<input type="checkbox"/> 023 NHKEテレ3東京	しない
<input type="checkbox"/> 031 t v k 1	しない
<input type="checkbox"/> 032 t v k 2	しない
<input type="checkbox"/> 033 t v k 3	しない
<input type="checkbox"/> 041 日テレ1	する
<input type="checkbox"/> 042 日テレ2	する
<input type="checkbox"/> 051 テレビ朝日	する
<input type="checkbox"/> 052 テレビ朝日	しない

手順**2**で「地上デジタル」を選んだ場合

-  を押すたびに「する」⇔「しない」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順**3**の操作を繰り返します(違う放送のチャンネルを設定する場合は  を押し、手順**2**からの操作を繰り返します)。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「かんたん初期設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「地域設定」の順に進む
- 2 該当する地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
- 3 該当する地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
 - 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号」の順に進む
 - 郵便番号の入力画面が表示されます。
- 2 お住まいの地域の郵便番号を ~ (0) で入力し、**決定** を押す
 - 上3ケタを入力して **決定** を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

 -

お知らせ

■ 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1 [設定] を押し、▲・▼と [決定] で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む

- 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

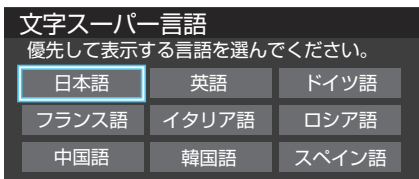
2 ▲・▼で「する」を選び、[決定] を押す

文字スーパーの言語を切り換える

1 [設定] を押し、▲・▼と [決定] で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む

- 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

2 優先する言語を▲・▼・◀・▶で選び、[決定] を押す



お知らせ

■ 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

ルート証明書の番号を確認する

- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
- このルート証明書は放送電波で送られます。

1 を押し、▲・▼と で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「ルート証明書番号」の順に進む

- ルート証明書番号のリストが表示されます。

2 ルート証明書番号を確認し、 を押す

用語

■ ルート証明書

サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときには必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「[すべての初期化](#)」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、製品同梱の取扱説明書裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。
- ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を 1 ~ 10 (0) で入力する

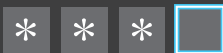
- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を 1 ~ 10 (0) で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。

暗証番号設定

新たに登録する暗証番号を入力してください。



ⓘ 暗証番号は視聴を制限する機能の設定や、視聴制限の解除に必要です。暗証番号を忘れないようご注意ください。

重要

登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 ~ (o) でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で  を押す

暗証番号を削除するとき

1  を押し、▲・▼と  で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 ~ (o) で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、 を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

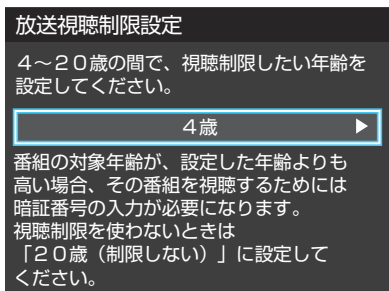
1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ~ **10** (0) で暗証番号を入力する

3 **◀▶** で年齢を設定し、**決定** を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、**1** ~ **10** (0) で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

インターネットの利用を制限する

- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

ネットワークサービス制限設定(パスワードロック機能)

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「インターネット制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ～ **10** (0) で暗証番号を入力する

3 ▲・▼で「ネットワークサービス制限設定」を選び、**決定** を押す


4 ▲・▼で「制限する」または「制限しない」を選び、**決定** を押す

- **制限する**
ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。
- **制限しない**
暗証番号入力は不要です。

5 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。

お知らせ

- テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンのを押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ本体のボタンで設定するとき

- テレビ本体のリモコンコードを、本体底面にある本体ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを下に動かし、そのまま下に押し続ける

- リモコンコード1とリモコンコード2が交互に切り換わります。

使わない放送切換ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送選択ボタン **地デジ**、**BS**、**CS** のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 **設定** を押し、**▲・▼** と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む

2 **▲・▼** でボタンを選び、**決定** を押す

地上デジタル	有効	有効
BS	有効	無効
110度CS	有効	

3 **▲・▼** で「有効」または「無効」を選び、**決定** を押す

お買い上げ時の設定に戻すには

(設定内容を初期化するには)

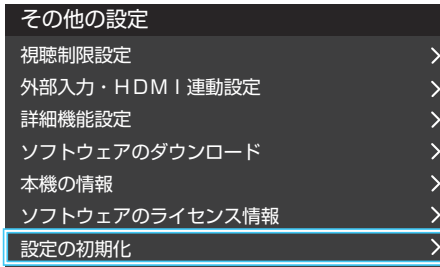
- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意

- ※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

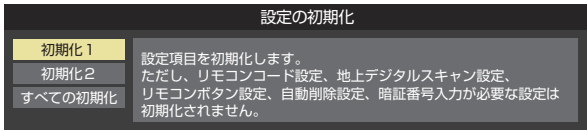
項目	内容
初期化1	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
初期化2	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
すべての初期化	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「設定の初期化」の順に進む



2 ▲・▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、**決定** を押す

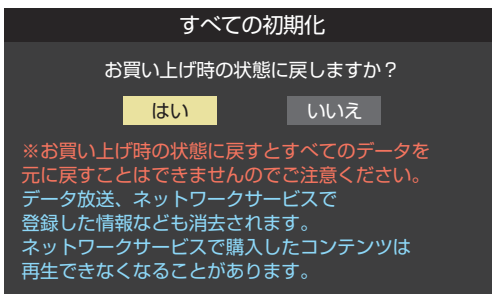
- 初期化される項目の内容は、前ページの表をご覧ください。



すべての初期化をする場合

- 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力します。

3 初期化する場合は◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す



4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は **決定** を押します。
- 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を以下に示します。
- ※一部のメニュー項目は、詳細項目は省略しています。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。「コンテンツモード」、「低遅延モード」は、HDMI入力を選んでいるときにだけ表示されます。
- 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。

映像設定

映像メニュー
コンテンツモード
画面の明るさ
お好み調整
黒レベル
色の濃さ
色あい
精細感・ノイズ調整
シャープネス
レゾリューションプラス設定
レゾリューションプラス
ゲイン調整
カラーテクスチャー設定
カラーテクスチャー
ゲイン調整
MPEG NR
ファインシネマ
コントラスト感調整
ユニカラー
ヒストグラムバックライト制御
ガンマ調整
質感リアライザー
色詳細調整
色温度
お好み調整を初期値に戻す
低遅延モード
明るさ検出
室内環境設定

音声設定

音声メニュー
サウンドリマスター
低音強調
イコライザー
サラウンド
オートボリューム
左右バランス
ドルビーDRC

音声出力詳細設定
デジタル音声出力
デジタル音声出力タイミング
ヘッドホン／音声出力設定
出力設定
ヘッドホン出力設定
音声出力設定
テレビ設置設定

録画・再生設定

通常録画設定
機器の登録
省エネ設定
機器の取りはずし
動作テスト
録画番組の修復
機器の初期化
録画設定
録画先機器の設定
マジックチャプター設定
再生設定
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
オートメディアプレーヤー

ネットワーク・サービス設定

ネットワーク接続設定
かんたんネットワーク設定
詳細設定
接続方法
無線LAN設定
自動設定
手動設定
無線LAN設定の初期化
アドレス設定(I P v 4)
I P v 6 接続
アドレス設定(I P v 6)
接続テスト
ネットワーク情報

タイムシフトリンク設定	機器の登録
	省エネ設定
	システムメンテナンス
	システムメンテナンス時間
	システムメンテナンスの実行
	おすすめ履歴の初期化
外部連携設定	リモート電源オン設定
	外部機器から電源オン
	外部機器を電源オン
	本機の名称
ネットワークサービス利用設定	
Netflix設定	ESN表示
	ログイン設定の初期化
ネットワークサービス情報の初期化	
放送受信設定	
地上デジタル設定	地上デジタルアンテナ設定
	地上デジタルスキャン設定
	初期スキャン
	再スキャン
	自動スキャン
BS・110度CSアンテナ設定	
リモコンボタン設定	チャンネルボタン設定
	地上デジタル
	BS
	110度CS
	チャンネルスキップ設定
	地上デジタル
	BS
	110度CS
データ放送設定	地域設定
	郵便番号
	文字スーパー表示
	文字スーパー言語
	ルート証明書番号
B-CASカード情報	

初期設定	
	はじめての設定
	かんたんネットワーク設定
その他の設定	
	視聴制限設定
	放送視聴制限設定
	インターネット制限設定
	ネットワークサービス制限設定
	暗証番号設定
	暗証番号削除
	外部入力・HDMI連動設定
	外部入力設定
	外部入力表示設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	ビデオ
	外部入力スキップ設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	ビデオ
	HDMI 自動画質モード設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	RGBレンジ設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	Dolby Digital Plus入力設定
	ビデオ音声入力設定
	HDMI 連動設定
	HDMI 連動機能
	リモコン動作モード
	連動機器→テレビ入力切替
	連動機器→テレビ電源
	テレビ→連動機器電源オフ
	サウンドシステム連動
	電源オン時優先スピーカー
	サウンドシステム音声入力
	HDMI 1
	HDMI 2
	HDMI 3
	東芝レコーダー連携機能
	機器操作メニュー自動表示

詳細機能設定	
	省エネ設定
	節電モード
	番組情報取得設定
	無操作自動電源オフ
	オンエア無信号オフ
	外部入力無信号オフ
	信号フォーマット詳細表示設定
	電源LED表示設定
	リモコン設定
	リモコンコード設定
	操作無効設定
ソフトウェアのダウンロード	
	自動ダウンロード
	ソフトウェア更新のお知らせ
	ソフトウェアの更新確認
本機の情報	
ソフトウェアのライセンス情報	
設定の初期化	
	初期化1
	初期化2
	すべての初期化

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)でお知らせしています。
 - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。

更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。

放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

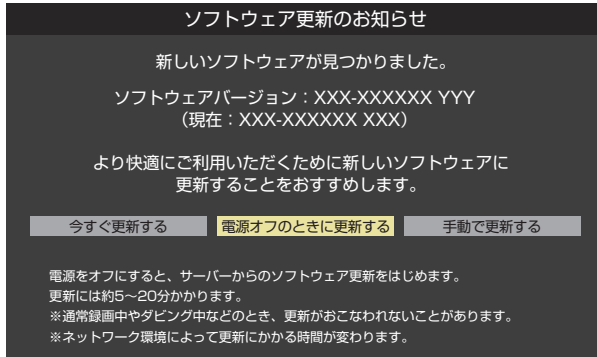
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「自動ダウンロード」の順に進む

- 2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、**決定** を押し

- **青** を押し、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。 [▶「東芝サーバーから手動でダウンロードする」](#)

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



- ◀▶で以下のどれかを選び、**決定**を押します。
 - **今すぐ更新する**
ソフトウェアの更新を始めます。
 - **電源オフのときに更新する**
本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
 - **手動で更新する**
ソフトウェアの更新は始めません。[「東芝サーバーから手動でダウンロードする」](#)の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
 - ① **設定** ⇨「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
 - ② ▲▼で「表示しない」を選び、**決定**を押す
- 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
- 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

お知らせ

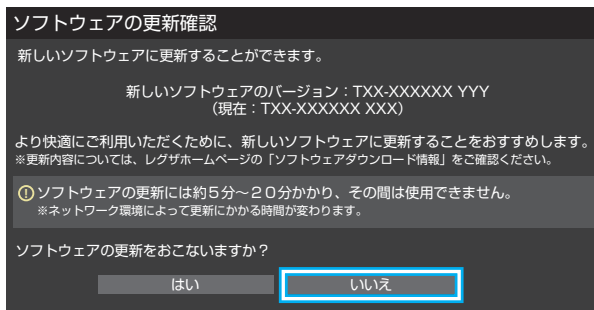
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
 - ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
 - 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
 - テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。
- 東芝サーバーからのダウンロードについて
- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 **20**)と [インターネットを利用するための設定](#)が必要です。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのまま終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「ヘルプ」⇒「本機の情報」の順に進む

用語

■ ダウンロード

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、**赤** を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、**赤** を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、**決定** を押す
- 漢字に変換するときには、**▼** を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら **決定** を押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を **◀▶** で変え、**▲▼** で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、**決定** を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →つ	タ→チ→ツ→テ→ト→ ツ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ、→。→ →	ワ→ヲ→ン→ワ、→。 →	※1	*
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#


● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→/→:→→→_→~→@
半角英字の場合……→/→:→→→_→~→@

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明
	ステレオ音声放送
	サラウンドステレオ放送
	二重音声放送
	字幕放送
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
	複数の映像、または音声またはデータがある番組
	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
	録画回数が制限されている番組
	デジタル録画ができる番組
	デジタル録画ができない番組
	光デジタル録音ができる番組
	1回だけ光デジタル録音ができる番組
	光デジタル録音ができない番組

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説明
	録画予約
	連ドラ予約
	視聴予約
	録画中
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
	おまかせ録画予約
	視聴予約が重なったときに表示されます。
	録画番組が「保護」対象
	録画番組が「上書き」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
	非リンク型サービス(通信番組) ▶「データ放送やラジオ放送を楽しむ」

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、[「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」](#)をご覧ください。

放送番組やビデオ入力端子からの映像や動画の再生を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4:3の映像 (480p、480i)、映像入力端子	フル、ノーマル、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
デジタル放送の16:9の映像	フル、HDズーム、HDスーパーライブ <ul style="list-style-type: none"> • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。 番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入/切で「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	フル、ノーマル、Dot By Dot、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
VGA、SVGA、720p	フル、ノーマル、Dot By Dot、ズーム、スーパーライブ
XGA、WXGA	フル、ノーマル [*] 、Dot By Dot、ズーム、スーパーライブ
SXGA、1080、1080p	フル、ノーマル、Dot By Dot [*] 、HDズーム、HDスーパーライブ

映像メニューを「ゲーム」にしているとき





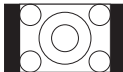



入力端子	選択できる画面サイズ
映像入力端子、HDMI入力端子 (SXGA、1080i、1080p)	フル、ノーマル
HDMI入力端子(480i、480p、VGA、SVGA、720p)	フル、ノーマル、Dot By Dot
フルHDMI入力端子 (XGA、WXGA)	フル、ノーマル [*] 、Dot By Dot


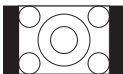

※液晶画面の画素数が水平1366×垂直768の機種では、選択できません。液晶画面の画素数については「仕様」をご覧ください。

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズ のモード	画面の見えかた	説明
4:3	スーパーライブ	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	ズーム	※1 	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1 	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	HDスーパーライブ※2	※3 	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	HDズーム※2	※3 	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

ゲーム	フル	※4 	ゲーム映像をテレビ画面いっぱい拡大して表示するモードです。
	ノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです (図は4:3の例です)。
HDMI	Dot by Dot		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

- ※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
- ※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
- ※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
- ※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲーム ノーマル」にした場合の見えかたです。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにだけ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度 (フレームレート)
USB機器、 ネットワークメディアサーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、 MPEG-1 Layer II	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
	MPEG2-TS	H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
USB機器	MPEG2-TS	H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 HE-AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	1920×1080 (60p)
	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
ネットワークメディアサーバー	MP4	H.264/ MPEG4-AVC	AAC	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)

- ※一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- ※音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- ※対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。
- ※リストに表示可能なファイルの最大数は1フォルダあたり3000です。
- ※リストに表示可能なフォルダの最大数は2000です。

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	16384×16384ピクセル以内(ネットワークメディアサーバーについては4096×4096ピクセル以内)
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

- ※一部の写真は再生できないことがあります。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

操作

電源がはいらない

電源プラグが抜けていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードが本体から抜けていませんか。

⇒ 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。

「電源」表示が消えていませんか

⇒ 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。

※ 「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。

「電源」表示が赤色に点滅していますか。

⇒ 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。

「電源」表示が赤色／緑色に交互に点滅していますか。

⇒ ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。

リモコンで操作ができない

リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。

- ⇒ 障害物を取り除きます。
リモコン受光部の位置は、製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」でご確認ください。

リモコンの乾電池が消耗していませんか。

- ⇒ 新しい乾電池に交換します。

リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。

- ⇒ 向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。

リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。

- ⇒ リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。 [»「2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」](#)

他のチャンネルでは、操作ができますか。

- ⇒ データ放送のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。
その場合、サブメニューの「データ放送終了」を選びます。

本体のボタンでは操作ができますか。

- ⇒ 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。

- ⇒ アンテナ線を確認して正しく接続します。
- ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。

- ⇒ 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。

アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。

- ⇒ アンテナ線を交換します。

レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。

- ⇒ アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。
- ⇒ アンテナ線を分配して接続します。

電波が弱くありませんか。

- ⇒ アンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)
- ⇒ アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。

アンテナ線の差し込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたたりしていませんか。

- ⇒ 確認して、しっかりと接続します。

アンテナ線(端子)がさびていませんか。

- ⇒ 販売店にご相談ください。

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 確認して正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ 機器の電源を入れます。

接続した機器の入力に切り換えましたか。

⇒ リモコンの **[入力切換]** で、外部機器を接続した入力端子を選びます。 [▶「外部入力の画面に切り換える」](#)

画面が暗い、または暗くなる時がある

部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。

⇒ 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ」を選択してみます。 [▶「お好みの映像メニューを選ぶ」](#)

⇒ 「バックライト」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。 [▶「その他の映像設定」](#)

映像メニューが「おまかせ」の場合、明るさセンサーの前に障害物はありませんか。

⇒ 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。

※ 映像メニューが「おまかせ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。

一時停止や、静止画になっていませんか。

⇒ 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなる場合があります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。

色がおかしい

お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。

- ⇒ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 [▶「その他の映像設定」](#)
- ⇒ お好みの映像に調整することもできます。 [▶「お好みの映像に調整する」](#)

映像メニューが一定時間後あざやかに変更される

はじめての設定の「テレビをお使いになる場所(設置場所)」で「店頭」が選択されていませんか

- ⇒ 「ご家庭」を選んでください。

音声



音声がでない

音量が最小になっていませんか。

⇒  で音量を上げます。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

画面に **消音** マークが表示されていませんか。

⇒  を押すと消音を解除できます
( でも解除されます)。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

「音声出力」になっていませんか

⇒ サブメニューの「スピーカー切替」で「テレビスピーカー」に設定します。 » [「外部スピーカーで聴く」](#)

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。

- ⇒ 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)
- ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

「初期スキャン」をしましたか。

- ⇒ 「初期スキャン」をします。

お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。

- ⇒ 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ (<http://www.apab.or.jp/>) で確認することもできます。

共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。

- ⇒ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)。

BS・110度CSデジタル放送**BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる**

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。

⇒ BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 [»「BS・110度CS共用アンテナの電源供給の設定を変更する」](#)

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

番組表

番組表に内容が表示されない

電源プラグを抜いていませんか。

- ⇒ 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。
- ⇒ 「番組表を更新する」の操作をします。 [▶「番組表を更新する」](#)

番組表の文字が小さい

- ⇒ 番組表を表示中に **赤** を押して、文字の大きさを変更することができます。 [▶「文字サイズを大きくする」](#)

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

「1チャンネル表示」にいませんか。

- ⇒ 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。 [▶「1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える」](#)


「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)が入っていますか。

- ⇒ 「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)を入れてください。チェックの入っていないチャンネルは表示されません。 [▶「視聴しないチャンネルをスキップする」](#)

お知らせアイコン  が何度も表示される

「お知らせ」の内容を確認しましたか。

⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、 を押したときにアイコンが表示されます。

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。

⇒ 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) でお知らせしています。でお知らせしています。

※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ USBハードディスクの電源を入れます。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

機器が本機に登録されていますか。

⇒ USBハードディスクを本機に登録します。 [>>「機器の登録」](#)

USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていませんか。

- ⇒ ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。
- ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。
- ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

録画ができない、または録画されなかった

USBハードディスクの残量が足りていませんか。

- ⇒ 残量を確認する。 [▶「機器の情報を確認する」](#)
- ⇒ 不要な番組を削除する。 [▶「一つの録画番組を消す」](#)
- ⇒ 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。 [▶「自動的に消す\(自動削除設定\)」](#)

コピー禁止の番組ではありませんか。

- ⇒ 録画はできません。

外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。

- ⇒ 本機は上記の番組や映像の録画には対応していません。

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。

- ⇒ 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。
- ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。

連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。

- ⇒ 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 [▶「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)
- ※ 1回限りのキーワード(「第〇〇話」や出演者名など)を削除します。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

- ⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。
- ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。

録画した番組が消えた

「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。

- ⇒ 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 [▶「自動的に消す\(自動削除設定\)」](#)
- または、消したくない番組を保護する。 [▶「誤って消さないように保護する」](#)

録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。

- ⇒ 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。
- ※ 上記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。
- ⇒ [「録画番組を修復する」](#)の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになります。

録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。

- ⇒ 録画リストの分類タブを **◀・▶** で「すべて」に変更する。
- ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

接続は正しいですか。

- ⇒ ルーターを通して正しく接続します。
- ⇒ 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、以下の操作を試みてください。
 - ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする
 - ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く
 - ③ 1分間以上待つ
 - ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む
 - ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする
映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。

それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

- ⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス情報(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

- ⇒ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 [▶「IPアドレス」](#)
- ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。

ネットワークメディアサーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。

- ⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。
- ※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認することができます。

無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。

- ⇒ 無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

本機が再生できる種類のコンテンツですか。

- ⇒ 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。

ほかのレグザで再生できない

- ⇒ USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。
- ※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。

推奨機器(対応機器)ですか。

- ⇒ ホームページ <https://www.toshiba.co.jp/regza/>でお知らせしています。
- ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

本機と接続機器の設定は正しいですか。

- ⇒ 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。
- ⇒ 本機の「その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。 >> [「HDMI連動機能」](#)

オーディオ機器(サウンドシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
- ⇒ レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。
- ⇒ ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。

接続機器側の設定は正しいですか。

- ⇒ オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。

- ⇒ 「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定します。また、「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「サウンドシステムスピーカー」に設定しておくと、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 [▶「電源オン時優先スピーカー」](#)
- ⇒ サブメニューの「スピーカー切替」で「サウンドシステムスピーカー」に切り換えます。 [▶「サブメニューについて」](#)

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。

- ⇒ 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⇒ ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。

接続や設定は正しいですか。

- ⇒ 確認して、正しく接続・設定します。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。

- ⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていませんか。

- ⇒ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 [▶「IPアドレス」](#)

ネットワークサービス利用設定を「利用する」にしていますか。

- ⇒ 「利用する」に設定します。 [▶「ネットワークサービスを利用するための設定をする」](#)

本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス(機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く)を利用できるソフトウェアバージョンですか。

⇒ ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。

クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

※ インターネットを利用しているときに、本機の電源状態を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。みるコレが正しく表示されない場合、「ネットワークサービスの情報を初期化する」を行うと、正しく表示されるようになります。

無線LANが使えない

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく設定します。

お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。

⇒ 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。

その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。

複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。

⇒ 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。

周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。

- ⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。 [»「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。
 - ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する
 - ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
 - ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします

機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする

接続できたとき

最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。

接続できなかったとき

ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

- ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
- ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
 - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったとき—テレビをリセットする」をご覧ください。
 - リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。

- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス情報(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。

- ⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。
- ⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。 [»「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示される場合は、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者（NTT東日本、NTT西日本など）にご相談ください。
- ⇒ 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作を試してみてください。
 - ルーターを再起動する。
 - 本機をリセットする
リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。
 - 本機のIPアドレスを確認する

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。

- ⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv6)」を確認します。 [▶「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。
- ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する
 - ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
 - ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する
 - 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします
機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする
接続できたとき
最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。
接続できなかったとき
ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。
 - ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
 - ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
 - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったとき-テレビをリセットする」をご覧ください。

- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。

- ⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。
- ⇒ 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 [▶「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。

PPPoE設定ができない

- ⇒ 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「電波の受信状態が良くありません。[サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」</p>	<p>気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切替が可能な状態になった。</p> <p>⇒ 降雨対応放送に切り換えることができます。>>「降雨対応放送について」</p>
<p>「放送が受信できません。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】)ボタンを押してください 3. 設定の「アンテナ設定」でアンテナレベルを確認してください <p>詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：E202」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナが放送に適合していない。 ● アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ● BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 ● アンテナの方向ずれや故障。 ● 電波が弱くて視聴できない。 ● 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 <p>※放送が休止中の場合も表示されることがあります。</p> <p>⇒ 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。</p> <p>⇒ アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。>>「電波の強さ(信号強度)を確認する」</p> <p>⇒ BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「現在放送されていません。 コード：E203」</p>	<p>選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 ⇒番組表などで放送時間を確認します。</p>
<p>「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」</p>	<p>放送のないチャンネルを選局した。 ⇒番組表などでチャンネルを確認します。</p>
<p>「B-CASカードが挿入されていません。カードを挿入している場合には向きと裏表を確認して、もう一度奥まで入れ直してください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • miniB-CASカードが挿入されていない。 • miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 • miniB-CASカードが抜けている。 <p>⇒番組表などでチャンネルを確認します。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「B-CASカードが認識できません。 カードの金属端子部に汚れがある場合には、きれいな柔らかい布で汚れをふき取ってください。」 または 「このB-CASカードはご使用になれません。カードをご確認ください。」</p>	<p>miniB-CASカードが接触不良を起こしている</p> <p>⇒ miniB-CASカードを取り出し、金色端子部に汚れがないか確認し、乾いた布でふき取り、入れ直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効なminiB-CASカードが挿入されている。 • miniB-CASカードが破損している。 <p>⇒ 付属のminiB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。</p> <p>認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙に記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。</p>

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器に接続できません。」	<p>接続ケーブルがはずれている。 ⇒ 接続を確認します。</p> <p>USBハードディスクの電源が切れている。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れます。</p> <p>USBハードディスクにエラーが発生した。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れ直してみます。</p>
「再生できません。」	<p>録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。 ⇒ 再生できません。</p> <p>再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。</p>
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	<p>テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。</p>
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	<p>録画した番組が正常に保存されなかった。 ⇒ 「録画番組を修復する」の操作をしてみます。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「USB端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」</p>	<p>USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。</p> <p>⇒ 以下の手順で復帰させます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する <p>※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。</p>

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」</p>	<p>レコーダーの動作との競合(なんらかの操作、動作、表示をしている)がある。</p> <p>⇒ しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。</p>
<p>「録画機器の予約数がいっぱいです。」</p>	<p>レコーダーの予約数が制限を超えている。</p> <p>⇒ レコーダーで予約を取り消します。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。 ⇒ 指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。 ⇒ レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。 ⇒ レコーダーの時刻設定をします。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。 ⇒ レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。 レコーダーが正しく接続されていない。 ⇒ 本機とレコーダーを正しく接続します。 HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	<p>サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。</p> <p>⇒ 接続・設定の状態を確認します。</p>
	<p>回線が混みあっている。</p> <p>⇒ しばらくたってから、もう一度操作します。</p>
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	<p>本機にルート証明書が設定されていない。</p> <p>⇒ ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。</p>
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	<p>ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。</p> <p>⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。</p>
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	<p>ルート証明書の有効期限が切れている。</p> <p>⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
<p>「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 接続先の証明書が有効期限切れになっている。 • サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。 • 接続先の証明書が改ざんされている。
<p>「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 認証エラーが発生した。 <p>⇒ 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません（本機の動作は正常です）。</p>
<p>「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」</p>	
<p>「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」</p>	

ホームネットワークに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「検索に失敗しました。」	<p>機器が正しく接続されていない。</p> <p>⇒ 確認して、ルーターを通して正しく接続します。</p>
「機器(メディア)にアクセスできません。」	<p>ネットワークメディアサーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。</p> <p>⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。</p> <p>※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認できます。</p>
「再生できません。」	<p>コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。</p> <p>⇒ 非対応フォーマットについては本機では再生できません。</p> <p>無線LANの暗号方式が「暗号なし」になっている。</p> <p>⇒ 著作権保護付きコンテンツの場合には無線LANアクセスポイントのセキュリティに関する設定を行った上で本機の暗号方式を「暗号なし」以外で設定して接続してください。</p>
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	<ul style="list-style-type: none"> • 機器が起動準備中。 • 機器が他の機器で使用中心。 <p>⇒ しばらくしてからやり直します。</p>

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	<p>コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れている。</p> <p>⇒ お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。</p>

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめ承知おきください。

■ それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」：

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 (通話料：無料)

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 (通話料：有料)